

・景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・個人消費が上向き傾向にある。
		商店街（代表者）	・カラーや柄物などに関しての今年の春物の傾向が明確になってきているなか、客の興味や購買意欲が現時点でもみられているので、実売期になると盛り上がりを見せるのではないかとと思われる。
		家電量販店（地区統括部長）	・競合による優勝劣敗が明らかになってきたため、自社には優位に働くとと思われる。
		観光型ホテル（経営者）	・大手エージェンツは4月から攻勢に転じるとの情報があり、一縷の望みを託している。海外旅行は低調で、南国指向も暑くなってきては厳しくなることが予想され、定番の北海道ツアーで業績向上を狙うエージェンツの戦略転換がうかがえる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・前年はイラク戦争やSARSの影響によって、4月からの業績は著しく落ち込んだが、今年はそうした要因がなければ、一昨年並みの水準まで回復することができる。
		通信会社（企画担当） その他レジャー施設（職員）	・携帯端末で新機種が登場するため、需要拡大が見込める。 ・通常通りのスポーツ・観光シーズンの幕開けのほかに、プロ野球チームや人気選手による集客増とともに、キャラクター商品の発売による購買増が見込める。
美容室（経営者）	・価格に見合う内容の商品であれば、いくら割高でも使いたいという傾向がみられるようになってきた。		
変わらない	変わらない	百貨店（売場主任）	・夏場ということもあり、気温に影響される面もあるが、客の低単価志向はこのまま続いていくものと思われる。
		百貨店（売場主任）	・春物衣料の動きがまだ出ていない。天候による影響もあるが、単価が低下している状況が相変わらず続いている。
		スーパー（店長）	・消費低迷のなかで価格競争がますます激しくなり、固定客の流出や客単価のダウンが予測され、売上不振が懸念される。
		スーパー（店長）	・今月は客数が前年比で4%ほど落ち込み、売上も前年比で90%を割っており、このままずっと低迷が続くものと思われる。
		スーパー（企画担当）	・消費税の総額表示の影響は現状不透明であるが、小売業者の低価格販促の強化や消費者の価格に対する不信感の増大の可能性も指摘されており、予断を許さない。いずれにしても、消費のプラス効果はほとんど期待できないのではないかとと思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・公共工事の予算が削減されているため、この春以降に関しては先行きが見えない状況である。ただし、港の貿易状況が良くなっているため、その影響によってプラスになるか、マイナスになるかが変わってくる。
		乗用車販売店（役員）	・地区の受注量からみて上向きになるような状況には乏しい。期待度はあるが、仕事量の動きが今一つパツとしない。
		住関連専門店（営業担当）	・BSE・鳥インフルエンザなど、食を中心に先が見えず、先行き不安が拡大している。また、4月1日に消費税の表示が変わるため、値上がり感から消費者の景気回復の足を引っ張る恐れがある。
		一般レストラン（スタッフ）	・来店した客の話の聞くと、外食の頻度が減っているようである。
		旅行代理店（従業員）	・熟年層が旅行に動き始め、売上が上昇傾向にあるものの、ビジネスでの旅行需要や家族の旅行需要が低迷しており、総じて回復傾向にあるとはいえず、予断を許さない状況である。企業の出張や招待旅行、家族での道内温泉旅行などが増加した時に、初めて先行きの明るさを実感するだろう。
		タクシー運転手	・規制緩和で個人タクシーが札幌市内で新規に160台ほど増え、供給過剰が一段と激しくなる。タクシーの利用客が増えないなか、競争が激しくなり、1台当りの売上がますます減少する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	観光名所（役員）	・ ツアー客の減少と卒業旅行の個人客の増加が相殺しあい、ほぼ同数の見通しである。
		商店街（代表者）	・ 今は零細企業にとっては状況が悪く、先が見えないなかギリギリの状態である店舗が多い。
		スーパー（店長）	・ 客数はほぼ前月並みで推移しており、客単価の低下が売上の前年実績未達成の最大要因となっている。客は低単価商品へのシフトなどシビアな商品選択をしているとともに、必要最小限の商品しか購入しておらず、この傾向は今後とも継続すると予想している。
		コンビニ（エリア担当）	・ 家庭の食料品消費支出金額が減少するなか、競合店の出店増加が今後も予想されているため、売上が回復することは困難になってきている状況である。
		衣料品専門店（店長）	・ 前年と同様な販売体制をとり、更にプラスアルファを行って対応しているものの、客の買い渋りが続いている。安い商品への志向が強まっている傾向が見受けられる。
		乗用車販売店（従業員）	・ 新車販売は相変わらず厳しいが、車検などの値段も気にする人が多くなり、サービス収益も減りつつある。
		高級レストラン（スタッフ）	・ 3月の予約は前年並みに入っているが、4月以降の予約状況が悪くなっている。
		観光型ホテル（経営者）	・ 全国的に景気が上向きと言われるなか、北海道における観光需要の見通しについては、今のところ良い材料が全くない状況である。
		タクシー運転手	・ 土建業などは、タクシー業界において夜間の客として密接な関係にあるが、土建業界では公共工事削減の影響から倒産や会社整理などを行うケースが多くなっている。
		観光名所（職員）	・ タクシーの空車が多くなったように感じる。
悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・ ボーナスから社会保険などが引かれ、可処分所得が減っている。その結果、入学シーズンを迎えるに当たり、食費が真っ先に削られることが予想される。	
	スナック（経営者）	・ 東京や大阪では、一部の企業で景気回復ということが聞こえてくるが、北海道ではまだ観光客も増えず、様々な面で景気回復にはほど遠いと思われる。長い年月の間に客の出入りが少なくなってきた面もあるが、ライバルもかなり増えており、来客数が少なくなってきた。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		食料品製造業（経営者）	・ 米国におけるBSEの発生が、今後水産物に対してはやや追い風となると想像される。また、春の水産物需要期を迎える。
		家具製造業（経営者）	・ 高級品に動きが出てきた。
		輸送業（営業担当）	・ 為替や市況にもよるが、輸出入貨物の動きが上向きになると思われる。
		その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）	・ 鋼材および関係副資材の値上げ通告が浸透し、仮需要が発生している。春先にかけて再度の値上げが予想され、一部銘柄には品不足が出ているため、ユーザーによっては在庫の積み増しを計画している。
変わらない		金属製品製造業（経営者）	・ 公共事業の削減に伴い、それに関わっている企業では売上の減少が起きているなど、大きな影響が出ている。また、鉄鋼業界では材料となる鉄鋼材の値上げなど、不安定な材料が非常に多く、先行きの不透明感が非常に強くなっている。
		通信業（営業担当）	・ ここ半年くらい受注量・金額とも特段の変化はなかった。年度末が近い2月も大きな変化はなかったため、しばらくは横ばいと考えている。
		金融業（企画担当）	・ 北海道庁の新年度予算も緊縮型となり、各方面にマイナスの影響が及ぶ。消費税額の表示変更も企業にとって負担増加となる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・ 大型倒産が発生するなど、マインドが回復する雰囲気がない。
やや悪くなる		輸送業（支店長）	・ 輸入雑貨を扱っている一部の業態を除いて、荷主からの引き合いが例年よりもかなり少なく、縮小に向かっている企業が多い。荷動きの面からみると、平成16年度の第一四半期は前年よりも悪化すると想定される。
		その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・ 現在、話が出ている受注案件は、年度末納期のものも多く、4月以降につながるものが極めて少ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・今年度は補正予算で公共工事の追加がなく、また、民間企業も今一つ盛り上がり欠けるため、今後の息切れが心配される。
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる やや良くなる	人材派遣会社（社員） 求人情報誌製作会社（編集者）	・長期オーダーの求人が若干ではあるが、増えてきている。 ・旭川の大型ショッピングセンターのオープンに関連する求人募集の効果が現れている。雇用人員も大量確保が決まっており、それに伴った求人広告の影響で全般的に求人動向が上向き傾向にある。また、全般的な業種動向も緩やかではあるが上向きになっている傾向が感じられ、こうした状況が2～3か月は続くのではないかと考えられる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人件数は順調に伸びを見せているが、業種全体という訳ではなく、本州の製造系企業の影響が大きくなっている。飲食業界でも伸びを見せ始めているが、確固たる感じではない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・官民ともに大型事業がなく、今のところ求人件数が伸びる要素が見当たらない。地元の農業生産も天候などの外的要因に左右されることから、微妙な状況である。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人のボリュームゾーンである小売・飲食、建設業に大きな変化はみられない。
		職業安定所（職員）	・大型ショッピングセンターの開店に伴う大量求人により、新規求人・求人倍率は良くなったが、これは一過性のものであり、相変わらず景気の上昇は見られない。
		職業安定所（職員）	・建設業および関連産業が工事完了により、事業を縮小していることから雇用需要が見込まれない。
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	-

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・若干希望的観測もあるが、雰囲気からいけば明るさが少し増している。しかし年金問題等の暗い話題がネックになっていく。
		商店街（代表者）	・暖かい春が早目に到来するような期待があり、飲食店の対応策が功を奏してくる。
		百貨店（企画担当）	・出店状況や競合店の改装状況等も含め、投資が活発化している。地方にも投資意欲が出てきていると感じている。
		百貨店（売場担当）	・これから3月に向け、マザーニーズなど各行事やセレモニーなどがあり、当店としても新しい仕掛けや品ぞろえで客の購買意欲を促す作戦を展開するため、景気は上向き。
		コンビニ（エリア担当）	・衝動買いは相変わらず少ないが、本当に必要な商品は、安くなくても動いており、高額商品でも必要なものは動いている。
		コンビニ（エリア担当）	・酒類販売の自由化により販売を始めた店舗が好調に推移している。
		コンビニ（店長）	・企業の設備投資が活発になってきており、中国への輸出産業も好調を持続しており、わずかながらでもじわじわと回復の兆しが見えてきている。 ・依然としてデフレ傾向にはあるが、その反動で良い商品を欲するようになってきている。
		衣料品専門店（経営者）	・暖冬のため防寒衣料が不振で、婦人服専門店は大きな打撃を受けているが、春の兆しが早く、天候も暖かくなったため、春物の動きが例年より早くなっており、今後の動きに弾みをつける。
		観光型ホテル（経営者）	・現時点での予約状況は遅く、昨年より5%ほど少ない。しかし電話受付も増え、インターネットによる予約も増えつつある。今後は歓送迎会や企業関係の総会などに期待している。 ・客の館内消費が多少明るくなっている。 ・これまで目玉としてきた日帰りコースが他館に分散している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
変わらない		観光型旅館（経営者）	・3～4月共に予約が先行している。前年よりはプラスにできる見通しであり、空き日をどれだけ早目に埋められるかが課題である。企画募集ものまとまりが比較的良い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会部門の予約状況は前年同日比で20～30%上回っているが、過去の事例から順調に推移するとはいえない。とはいえ期待感を持っている。
		住宅販売会社（経営者）	・新設した展示場への来場者は多いが、展示場来場者の選別する目が厳しくなっている。住宅会社の選別も強まっており、価格面、品質面での二極化も進んでいる。今後はこうした部分を強化する必要がある。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅だけでなく、RC賃貸マンションの確実な受注も数棟予定があり、資産運用を見直す客が増えている。
		商店街（代表者）	・消費税の総額表示が始まる。消費者は頭では理解しているが、実際の買い物行動では値上げの印象を持つため、消費の足を引っ張り、それが引いては景気の足を引っ張ると懸念される。
		スーパー（経営者）	・価格は下がったままのこの状態が続く。どこかが市場から退場しない限り、良くはならない。
		スーパー（経営者）	・食にまつわる業種では、基本的な消費スタンスに大きな変化はない。しかし安心、安全、健康といった観点から、今後客の支持が集まる商品と支持を失う商品など、中身に変化が現れる。マクロの景気や総売上等には大きな変化はなくても、中身がかなり入れ替わると考えている。
		スーパー（店長）	・必要な商品は買い回りしながらでも購入しているが、嗜好性のある商品は買い控え傾向にある。
		スーパー（総務担当）	・全体としては、前年比100%ジャストであり回復しているように見えるが、ここ1～2か月が底を打ったという感じである。2～3か月先もこの状態が続くと思われるが、各社が出店を加速させ小売的には厳しい状況がまだ続く。
		スーパー（企画担当）	・生鮮の各部門が現在そろって低調である。特にBSEによる牛肉、鳥インフルエンザによる鶏肉の消費が減少し、野菜についても市況安が消費拡大に結び付かず、今後も厳しい状況が続く。
		衣料品専門店（店長）	・客単価の上昇傾向は継続すると思うが、低価格商品の提案を減らしている分、浮動層の減少が予想され、急激な客数増加は望めない。
		衣料品専門店（店長）	・消費者に緊縮スタイルが定着した中で、これから数か月先にヒットする商品の期待もなく、購買喚起できる環境下ではない。
		家電量販店（店長）	・当面でなく、将来の生活にも良い見通しがないため、家計支出を緩めない。また収入も減少傾向にある。
		乗用車販売店（経営者）	・個人、法人共に保有延長が多く、また減車傾向も出ている。そうしたことから総量を支える代替え需要の発生が低調で、回復には時間がかかる。
		住関連専門店（経営者）	・都市型のマンションは動きが見えるが、一戸建の住宅は前年度マイナスで、先行き不安等でどうしたらいいかわからない状況であり、変わらず悪い。
		その他専門店〔靴〕（経営者）	・総額表示での割高感が出て、消費の冷え込みに拍車がかかり、これ以上良くなることは望みにくい。
		その他専門店〔家電〕（経営者）	・デジタル家電は好調であるが、売れない商品との差が激しく、単価を下げないと苦戦を強いられる。また客の慎重な購買行動は依然続くため、変わらない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ガソリンスタンドにとって、春需のタイヤ等の需要期を迎えるが、ここ数ヶ月の顧客の購買動向を考慮すると、例年に比較して多くの需要は見込めない。また、公共事業が減少し、なおかつ、発注の端境期となるため、土木建設業界の需要増は期待できない。総じて現状より良くなる要素が見当たらない。一部の業種が回復しているが、当社の販売エリアの中には恩恵が期待できない。 ・鳥インフルエンザの影響が長引いた場合、一部の焼き鳥屋の経営が深刻な状況となる。当県は農業県のため、影響が出てくる。
		一般レストラン（経営者）	・ここ数か月間変化はない。歓送迎会の時期を控えているが、予約の状況が芳しくなく、個人客も今ひとつであり、数か月先も悪いままである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食〔そば〕 (経営者)	・相変わらず周囲のオフィスビルに空室が目立ち、通りに活気が無い。すぐ隣のコンビニが今月中旬に閉店し空いたままである。通りの店が歯が欠けたように閉店し、人の流れが変わっている。
		観光型旅館(経営者)	・ここ数か月間、前年比で10～18%のマイナス状況が続いている。この先もこの傾向は続くが、今後大きく落ち込むとは考えられず、底を打った形でこのままの状況が続く。
		都市型ホテル(経営者)	・先月のイベントの結果は芳しくなかったが、今月のイベントの結果は上々であった。 ・新規参入も含め今後は業界のシェア争いがますます激しくなる。 ・歓送迎会のシーズンになるため販売に力を入れ、今後は婚礼受注確保の対策が必要である。 ・若年層の披露宴離れが進んでいるため、業界が一丸となって対策を打つ必要がある。
		都市型ホテル(スタッフ)	・年度末に向け出費の極端な抑制が始まる。また新年度に入ってから消費税総額表示に伴いマインドが冷え込み、賃金の問題も良い要素がない。 ・ますます二極化が進む中、良い企業よりも悪い企業の方が圧倒的に多いため、緩やかに回復という話は実感できない。
		通信会社(営業担当)	・3～4月の需要期を迎えるものの、IP電話や制度改正によって低価格化傾向が進み、業界全体で一時的にパイの縮小が見込まれる。
		遊園地(経営者)	・ハローワークにパートタイマーの求人を出した。求人が昨年より増加しているということで、一定の雇用回復は進んでいるようである。
やや悪くなる		百貨店(売場主任)	・今月好調であったのは冬物のクリアランスで、割引しての売上が主であったため、来月以降は春物プロパ品の販売となり正札の販売についてはやや悪くなる。
		スーパー(経営者)	・3月あたりから商品入れ替えのためのセールが始まるため、安売り合戦が激しくなる。それ以降の新商品に変わった時期、総額表示に変わった時期の対策が思い浮かばない。
		スーパー(店長)	・ディスカウントを打ち出したスーパーセンターが、競合で乱発しており、価格が下がっている。例えば500mlのペットボトルが1本68円など異常な単価下落である。 ・消費税の総額表示で人件費も相当額の支払いとなり、総額表示に対する客の印象も懸念される。
		衣料品専門店(経営者)	・4月からの消費税の総額表示により、客は若干の値上がりという印象を持つため、慣れるまでは悪くなる。
		住関連専門店(経営者)	・トレンドスタイルに変化がなく、ヒット商品も寿命が短く、全体的に期待できない。
		その他専門店〔酒〕 (営業担当)	・消費税法の改正により在庫管理が変わるため、かなりの在庫調整が起きる。4～5月は先行き不透明であり、酒類は悪くなるのが予想される。
		都市型ホテル(経営者)	・2～3か月先は総会の時期である。予約は入り始めているが、人数の縮小が止まらず、売上も減少するため、やや悪くなる。
		都市型ホテル(スタッフ)	・駅前に4月に200室規模のビジネスホテルが1軒、7月に250室規模のビジネスホテルがオープンする。当市の水準では大型のホテルとなるが、客の選択の幅が広がり、よりリーズナブルな価格のホテルに客が流れるため、厳しい戦いになる。
悪くなる		スーパー(経営者)	・客数や客単価の下落が依然として続いており、回復の兆しがまったく無い。 ・建設業を中心に倒産が増え、雇用状況等その他の要因も改善されておらず、まだまだ悪化する。
		スーパー(店長)	・4月下旬予定で2km圏内に大型食品スーパーが出店する。商圏がかなり重複しており、客数、売上共に10%以上の影響が出るものと見ている。
		タクシー運転手	・客が少なくなっている状況で、タクシーだけが増え昨年より500台程度増車しており、今後も増車する計画になっている。タクシー業界の規制緩和は破滅的な効果しかなく、客にとってもサービスの低下以外の何ものでもない。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業(従業員)	・ヒット商品関連業からの輸出入貨物の引き続いての伸長が期待できる。フォワーダー各社もリストラから積極的な営業展開をしており、その効果が出てくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・アメリカのBSE問題が、全体に影響を与えている。これが長期化する様相を呈し、悪いまま変わらない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・為替水準が現状の水準で推移するのであれば、やや好転する可能性はあるが、また以前のように再び105円を割るようであれば景況感は更に悪化する。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注量が増えているところもあるが、一時的なもので先々の見通しは立っていない。
		金融業（営業担当）	・現状では景気に底打ち感があり今後に期待ができる半面、地方交付税の減額による地方財政の逼迫は今後無視できない影響を及ぼす。
		広告代理店（従業員）	・価格の見直し及び引き下げは、ほぼやり尽くした感がある。そのためこの状況が維持され、年度が変わっても今年の価格とほぼ同額で推移する。
		経営コンサルタント	・企業のマインドが高まっているのは間違いないが、まだ様子見の状況が暫く続く。
		その他企業〔管理業〕（従業員）	・親会社が良くなった背景には、出入り業者への値引き要請などもあるため、相当良くならなければ景気は良くならない。
	やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・BSEや鳥インフルエンザの発生で、全体的には水産業への追い風を感じるが、消費税の総額表示以降への切り替えに伴い、一部量販店からの値下げ要請もあり、今後の収益悪化が懸念される。
		繊維工業（総務担当）	・厳しい状況である。繊維業界の回復は遠い先になることは必定でいかに生き残りをかけるかの模索が続いている。中国からの流入品も依然として続いており、今も脅威となっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・年度末の追い込みが一段落つくのか、4月以降は今現在不確定な状況である。 ・開発情報はけっこうあるが具体的な物件は見えない状況である。
		建設業（経営者）	・国、地方の来年度予算案が出そろったものの、いずれも公共事業が前年比ダウンで明るい見通しが無い。民間企業の回復がいわれるが、まだ建設業までの波及は感じられない。
		広告代理店（営業担当）	・これまで広告業界をけん引してきた携帯電話各社の勢いが鈍化している。具体的には3月も減少しており、4月以降が見えない状況である。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・4月の消費税総額表示は、メーカー側で端数を切り捨てなければならぬ状況も出てきている。実質的な値下げにつながり売上減少や値引き競争に拍車がかかる懸念がある。
	悪くなる	農林水産業（従業員）	・昨年の収入が少なかったため、今年の生産に必要な資材の購入を安価なものにしている。そのため良い生産物を収穫できないことになるが、仕方がないという雰囲気である。
		コピーサービス業（経営者）	・店舗関係は来客数が減少している。また物件数も例年より少ないのが現状であり、景気が回復しているとは当地では考え難い。しかし首都圏での景気回復が将来的に当地にも少しずつ浸透してくる。
雇用関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	・製造業務への派遣解禁は追い風であり、潜在ニーズは高く、既に複数単単位で数社から引き合いが来ている。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・年度末で派遣契約が満了となる契約が多い。入札によって受注した契約が大半であり、新年度以降の受注については不透明である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告の動きが多少良くなってきている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・各企業の採用に対するマインドが高くなっている。また守りから積極的な攻めに経営戦略を転換している企業が増えていくことから、全般的に変わらないか若しくは上向く。
		職業安定所（職員）	・製造業の一部を除き、県の来年度予算の大幅削減が明らかとなった建設業をはじめ、ますます影響が拡大している鳥インフルエンザ等、各業種に渡り先行きが懸念されている。
職業安定所（職員）		・求人の動きが低調で、また一件ごとの求人数が少なく、雇用面で拡大基調を迎えるにはもう少し時間がかかる。	
職業安定所（職員）		・新規求人に占める業務請負の割合が多く、短期的な雇用ばかりで、今後新規求人の増加が見込めない。	
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・求人の量は増えても、内容、質の面が良くなる状況になく、新卒者の採用が厳しい状況が続いている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる		

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（営業主任）	・良くなる。前年12月からスタートした地上デジタル放送が客に浸透してきて、人気度が徐々に上がってきている。その動きに加え、デジタル家電の単価が下がってきていることから、デジタル家電の売行きが伸びてきている。今後も購買数の増加が見込まれている。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・野球等のスポーツが始まるので、チームなどの注文が入り始めており、良くなってきている。
		スーパー（店長）	・消費税の総額表示について客に聞くと、買物の計算がしやすくなるという意見が多いので、商売にも多少プラスとなると見込んでいる。
		コンビニ（経営者）	・前年と比べ調理めん類の売上が伸びており、この動きは今後も続く。
		コンビニ（店長）	・4、5月には毎回100万人程度の人出となる大きな祭りが控えている。徐々にムードが盛り上がり、地元メディアで取り上げられたり、関連商品が出回り始めているので、先行きに期待している。
		衣料品専門店（経営者）	・この6か月の来客数、販売量は前年比で約3%増加となっている。景気は上向き傾向に移行している。
		家電量販店（店長）	・夏に向けてオリンピックの影響もあり、現在好調のデジタル家電、ディスプレイ関係が伸びて、良い動きとなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・今まであまり発生していなかった3ナンバー、普通乗用車、セダンタイプの商談が発生し、契約に至るようになってきたので、これからはやや良くなる。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・例年3～4月は携帯電話需要が増すが、今年は更に新機種が発売が重なり、販売量の増加が見込まれる。一番需要の多い29歳以下を対象にしたキャンペーンも実施する予定である。
		タクシー運転手	・社会情勢を考えると以前ほどの盛り上がりは期待できないものの、送迎会シーズンで夜間需要が見込まれる。
ゴルフ場（支配人）	・県内の精密機械、電機関係製造業に携わる企業は増産でフル稼働をしている。それを裏付けるように、関係者のコンペ予約がかなり入ってきている。3月の予約は周辺コースの料金差などで前年の90%程度となる見込みだが、4月の予約は順調である。		
変わらない	百貨店（店長）	・10月から前年実績をクリアできない状態が続いている。このままだと景気は良くならない。	
	スーパー（経営者）	・現在、大型店閉鎖のために売上、来客数が伸びているが、大型店のリニューアルオープン後は厳しくなる。	
	スーパー（統括）	・県内の有効求人倍率が1.04と9か月ぶりに1倍台に回復し、新三種の神器といわれる携帯電話・デジタルカメラ、DVD、液晶・プラズマテレビに関わるIT関連企業の好調さが伝えられるなど、県内経済全般としては回復基調にある。しかし農業所得の減少、ボーナスダウン、社会保険料の増額等、消費マインドは冷え込んだままである。	
	スーパー（経営企画担当）	・競合店が2店ほど閉店する予定であるが、新規出店する話もあるので、総じて変わらない。	
	コンビニ（店長）	・ペットボトルのキャップ等のフィギュア商品が、一時的には単価アップをもたらすが、牛肉、鳥肉の先行きがわからないので、変わらない。	
	衣料品専門店（店長）	・行楽や結婚式のシーズンではあるが、コーディネート販売や、スーツ等の重衣料のカジュアル化により、高額商品の販売はあまり望めない。	
	乗用車販売店（従業員）	・お買い得車を設定しても客の慎重な姿勢は変わらないので、販売台数の伸びは期待できない。	
	住関連専門店（店長）	・地元企業の倒産等で消費者心理が今一つなので、多少良くなっても相殺される。	
	高級レストラン（店長）	・歓送迎会などで人の動く季節ではあるが、現在までの予約状況はほぼ前年並みである。	
	一般レストラン（業務担当）	・3～4月に行われる企業、各種団体の年度替りに関わる会合、宴会の予約は、前年並みの入込となっている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 3、4月は歓送迎会、入学式などで動きが多分に出てくるが、景気は変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 宿泊の常連客の利用状況はあまり変わらないが、新規の客が入らない。常連の中には、最近できたホテルに移動する客も見受けられるので、今後客数が増加するという事は全く考えられない。
		旅行代理店（経営者）	・ 例年であればこれから盛り返すところであるが、鳥インフルエンザを含めた部分で風評等が出ており、販売量、客単価は現在と変わらない。
		旅行代理店（営業担当）	・ 当農業地域では、農産物価格の低迷が続いている限りは基本的に改善しない。その他、鳥インフルエンザ、SARSの影響からも脱却しきれないので、悪いまま変わらない。
		通信会社（社員）	・ 携帯電話市場は、買換え需要が中心であり、新規加入数や純増数は伸び悩んでいる。今後はより一層シェア競争が激化する。
		観光名所（職員）	・ 各店の営業努力で、客単価は低くても前年並みの来客数は確保する。
		ゴルフ場（副支配人）	・ 3か月後の予約はそれなりである。本来は春のシーズンに向かって良くなる時期であるが、3か月後の予約状況を見ると、土日の予約はそれなりにあっても、平日の引き合いが少ないので、変わらない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・ 新規の整備工場が増え、競争に加速がかかり、客の取り合いは激しさを増している。安売りは一部にとどまり、整備料金は一定の価格が保たれてきている。
		設計事務所（所長）	・ 建設関連業種について、良くなるという要素はない。
	住宅販売会社（経営者）	・ 担保価値の評価法の厳しさから不動産価格が一向に上がらず、そのため不動産に対する銀行融資が厳しいという状況が続く以上は良くならない。	
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・ できて6年の商店街であるが、一度テナントが抜けると何か月も空き店舗のままであり、街としての形成が壊れているような状況なので、今後良くはならない。
		一般レストラン（経営者）	・ 歓送迎会の予約次第であるが、新駅周辺に大型チェーン店などの多くの店が進出した影響で客の流れが変わってきており、今後もかなりの影響があると覚悟している。
		美容室（経営者）	・ 今年は例年に比べて非常に景気が悪い。卒業式、入学式があっても、客はなかなかお金をかけられない。
		住宅販売会社（経営者）	・ 年金問題など、社会の先行きに対する不安が大きく、借入れをしてまで家を購入する客が少ないので、好転する材料がない。
悪くなる	スーパー（経営者）	・ 消費税の総額表示が消費者心理にマイナスに働いて、悪くなる。	
	衣料品専門店（販売担当）	・ 地元銀行が破たんした影響が顕著に出始めている。周辺の倒産、連鎖倒産は、そのまま経済環境に悪影響を及ぼすため、これから一層景気は悪化する。	
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・ 3か月先の受注量は前年比10%増加する見込みであるが、前年比10%というのはこれまでにない数字であり、景気は上向いているといえる。特に、3月はフル生産体制である。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・ 2月より自動車関連部品は2%、建設機械関連は5%増加している。今後は当分このままとする。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 県内の中堅企業で、特に半導体関連、建機関係、自動車関連の仕仕事量が大幅に増加してきている。それに伴い、いくつか設備投資の動きも出てきているので、2～3か月先は現状よりは若干回復する。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ 3月に市内の新しい幹線道路が開通し、他にもう一本開通予定の幹線道路があることから、新しい店の開設が進んでおり、付近への出店は今後も続くことが予想される。その割には紙面広告は横ばい状態で、広告主の慎重さがうかがえる。広告会社の担当からは、前年の企画を継承したような広告は好まれず、タイムリーで新鮮な企画が求められていると聞いている。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・ 業態によっては、素材の単価上昇を製品価格に転嫁できないために収益が悪化している取引先も多いが、収益状況が改善傾向にある取引先からの引き合い、受注量が増加しており、4～6月期の収益はかなり改善する見込みである。	
変わらない	化学工業（総務担当）	・ 鉄鋼関連は回復の兆しがほとんどないが、半導体関連は良いので、総じて変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・国内総生産増が7%と発表されているが、地方の中小企業の実態はまだまだ厳しい。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	・自動車業界、建設機械業界に関しては、年度が変わっても現状の受注量を確保できる見込みである。その一方で、材料メーカー各社から要請のある素材の値上げの影響が、いつどのような形で出てくるか分からない状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・仕事の引き合いは出てきているが、コスト面で採算が難しく、忙しいだけで、景気上昇には結びつかない。
		建設業（経営者）	・受注は増加せず、競争が激化している状況は変わらない。
		金融業（経営企画担当）	・現在のところBSE、鳥インフルエンザ等の目立った影響は出ていないが、食べ物に直結することなので、今後被害が拡大すると、影響が懸念される。
		不動産業（管理担当）	・空室を埋めるテナント探しがかなり難航している。価格面での折り合いももちろんあるが、付近に新しいビルが立ち、15年近くの築年数が経過した当ビルへの入居確保は厳しい状態となっている。
		広告代理店（営業担当）	・販促活動は活発化しても、広告経費の抑制（小ロット、メディアのセグメント）は続く。消費者のふところが厳しいことは今後も変わらず、販促効果は薄い。
		経営コンサルタント	・企業の将来に関する個別の商談案件では、通年取引ベースの範囲内のものが主であり、新しいニーズによる景気浮揚効果を期待できるものはまれである。
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・地方の中小製造メーカーでは、仕事が全て中国に出てしまい、国内に残っているのはごく小ロット、短納期のもののみで、来れば忙しいが、それを拒否すると全く仕事なくなるというひどい状況である。中小零細の製造業にとっては、この先もっと厳しくなる。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・4月からの年間契約は、官公庁などを中心に5%程度落ち込む見通しである。スポット物の商業、流通、サービス業、イベント等も減少傾向にあり、売上高は相対的に減少する見通しである。	
悪くなる	建設業（総務担当）	・公共事業工事削減の影響で、1月末での受注残が前年比56%と大幅に減少しているため、今後も厳しい。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・生産関係は、3月から注文が出始める予定であり、電子関連は、不良品等がなければ生産は伸びていく。家庭用雑貨等の小売、卸については、3～5月までの見込みが立っており、在庫製品の管理、配送等の準備段階に入っている。全般的にはやや上向き傾向である。
		人材派遣会社（営業担当）	・製造業の上向き傾向が基盤を形成し、消費の拡大に繋がっているのか、旅行、観光業からの派遣依頼がいくつか出てきているが、即戦力となる経験者や高いレベルのスキルが要求されるため、人材確保がままならない。また、低い派遣料金や、ハードな勤務内容など、受発注のアンバランスも目立っている。製造業関連で、海外とのネットワーク形成や取引拡大のためか、料金面でのギャップはあるものの、たまに通訳の要請がある。
		職業安定所（職員）	・高卒向け求人数が前年同月比で29.5%増加しているため、今後はやや良くなる。
	職業安定所（職員）	・デジタル関連機器の増産に伴い、半導体、液晶製造装置の生産が好調に推移しており、生産、人員ともに増強を図っているため、やや良くなる。	
変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	・アウトレット、大型ショッピングモールの出店に加え、4月には夏にオープンする予定のアウトレットの2次募集も出てくるので、求人の動きはやや良くなる。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	・県内に大企業が大々的に進出してきており、それに伴い中小企業の小規模化や倒産が見受けられるので、プラスマイナスで変わらない。	
	職業安定所（職員）	・前年同月比で見ると、有効求職者数は14か月連続で減少し、有効求人数は16か月連続増加となっているが、3月に2件、大量企業整備の話が出ており、一概に良い方向とはいえない。	
	職業安定所（職員）	・前年比での有効求人倍率は、一昨年9月から18か月連続で増加しており、1.50倍となっているが、求人内容等のミスマッチが多く、就職率が上がらない状況が続いているので、変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・2月に2回開催された、来春大学等卒業予定者対象の合同就職面接会の参加企業、求人数は、いずれも前年並みとなっている。特に、自動車ディーラーや情報関連の営業職、設計技術者の求人が目立っている。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	家電量販店（店長）	・各社とも、オリンピックに向けて映像関連の新商品を用意しているため、打ち出しをしっかりと行えば、必ず良くなる。
	やや良くなる	一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・前受注を相当もっており、これからも出てくる。
		百貨店（売場主任）	・春物の動向が非常に活発で、これが初夏物へつながることに期待している。 ・7連休のゴールデンウィークがあるので、UV関連、旅行関連が良くなる。
		スーパー（店長）	・酒類販売の開始を予定しており、売上の増加が見込める。
		コンビニ（経営者）	・2月は例年、来客数、売上が減少する時期であるが、今年は来客数が増加している。この調子でいけば、今まで以上に良くなる。
		家電量販店（店長）	・商品には、必要に迫られて購入するニーズ商品と、新しいから欲しいという欲求商品がある。このところ、家電関係に欲求商品の売れ筋が出てきていることから、デジタルを中心に伸びていく。
		家電量販店（営業部長）	・オリンピック需要に期待している。大型薄型テレビ、DVDレコーダーなどが、これから夏にかけて売れる。
		乗用車販売店（販売担当）	・来客数が徐々に増え、客の購買意欲も高まってきているようで、今後期待できる。
		スナック（経営者）	・客の会社で設備投資が進んでいるという話があちこちで聞かれ、企業の従業員の給料も多少良くなり、忙しくなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・中小企業の社長が、景気が良くなっていると話している。これが半年以内に悪くなるとは考えられない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・鉄道の新路線開通による集客効果に期待している。
		旅行代理店（支店長）	・海外旅行の受注が堅調であり、消費マインドに明るさがみえてきている。
		通信会社（営業担当）	・夏のオリンピックに向けて薄型テレビを購入した人が、地上デジタル放送を視聴する需要が増加してくる。
		観光名所（職員）	・過去6か月ほど来客数が前年比120～150%と、増加傾向が続いており、今後も良くなる。
		パチンコ店（経営者）	・大型商業施設のオープンが予定されており、駅前に人が集まっている。再開発で施設等もできるので、プラス材料になる。
変わらない		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・家庭用ゲームについては、国内市場が縮小する中、海外に販路を求めて結果を出している。いつまで海外の好調さが持続するのか不明であるが、オンラインゲームや携帯電話でのゲームも台頭してきている。 ・アミューズメント施設については、各社とも大型化、複合化、新業態のフードテーマパーク等に積極的で、出店意欲がおう盛である。競争は激化するが、潤沢なキャッシュフローを元手に、投資意欲は衰えていない。また、アミューズメント施設業界向けの新製品展示会では、さん新たな機器はなかったものの、カードを使ったゲーム機が目玉されている。
		設計事務所（所長）	・来年度の自治体予算が発表されたが、今年度と比べて増額になっていることから、期待している。
		住宅販売会社（従業員）	・現行住宅ローン控除の1年延長、住宅金融公庫金利引下げ等もあり、周辺地域での販売供給が非常に活発になっていることから、今後はやや良くなる。
		一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	・単価が低いことは気になるが、春に向けてのスタートとして、現状は悪くないので、気温が安定すれば現状が持続する。
		一般小売店〔CD〕（営業担当）	・先行きに対する不安感が依然として強く、嗜好品への出費を極力抑える傾向は、今後も続きそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔鞆・袋物〕(従業員)	・イベント需要等、人への贈り物については相応の単価が見込まれるが、日用品については買い控え傾向が続く。
		百貨店(企画担当)	・婦人ミセスのファッションが大きく改善していないので、しばらく現状が続く。
		百貨店(広報担当)	・店レベルやショップレベルでは明るい話題があるが、郊外店舗を含めた全体で見ると、まだ消費回復の力強さは感じられない。今後は、顧客の要望へのきめ細かい対応、集客につながるイベントの継続的な開催が重要になる。
		百貨店(営業担当)	・春物商戦は概ね順調に推移するが、期間が短いため、気温の上昇により夏物が先に動き出すと、戻すばみする恐れがある。
		百貨店(統括)	・衣料品、雑貨にこれといったヒット商品が見当たらない。
		百貨店(営業企画担当)	・大型催事は好調だが、各階元売場の売上は厳しく、この状況を打開する明確な改善策がない。このままの状況が続く。
		スーパー(経営者)	・新商品等で多少単価が高くなっている。客は、欲しい商品があれば購入しているので、今後も客のニーズに対応すればよい。
		スーパー(経営者)	・2月は多少良くなっているが、特に精肉に様々な問題が発生しているので、あまり良くなるとも思えない。
		スーパー(店長)	・鳥インフルエンザやBSE等、食品に関する問題が発生しており、今後も予断を許さない。
		スーパー(店長)	・今年は雪もなく天候に恵まれており、来客数も上向きであるが、主力である婦人服の春物がそれほど動いていない。また、食に関する不信感が続くと思われ、景気が上向くまでには時間がかかる。
		スーパー(店長)	・4月から施行される総額表示について、競合他社の対応が読めず、状況によっては売上に影響することが考えられる。また、3月下旬から4月にかけて大型店の出店が相次ぐため、当店にも影響がある。
		コンビニ(経営者)	・競合店との激しい競争が続く中で、近隣の惣菜店、スーパー等の競合異業種の閉店の話もあり、先行き不透明である。売上はプラスマイナスゼロ程度で推移しそうである。
		衣料品専門店(経営者)	・春夏衣料は明るい色目が多く、今までにないアイテムとして客が購入すると予想されるが、客単価の上昇は望めない。客の消費行動が大きく変わるとは思えないため、売る側も消化率や粗利益を中心に、仕入れを考えている。
		乗用車販売店(経営者)	・2月は順調に推移しているが、4月以降の動向は不透明で、先行きの景気が回復しているとは思えない。
		その他専門店〔ドラッグストア〕(経営者)	・競合店は増加し、商品単価は依然として下落している。季節に左右されない商品や新製品、推奨品の拡売により、季節性や競合店への対応を考えているが、精一杯やってプラスマイナスゼロと予想している。
		その他専門店〔キャラクターグッズ〕(従業員)	・パレンティン商戦をみる限り、ホワイトデー商戦に期待することは難しく、低単価傾向に変化もないことから、当面は現状が継続する。
		高級レストラン(支配人)	・一部の官庁が当地域に引っ越してきたため、一般レストランでは来客数が増加しているようであるが、当店のような接待関係の店には客が流れてきていない。今後もこのまま推移する。
		都市型ホテル(スタッフ)	・この先の予約状況が、決して良いとは言えない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・例年と比較し、特に明るい材料があるわけではない。食材コストの増大も懸念され、良いものを低価格で提供するのに限界を感じている。
		旅行代理店(従業員)	・団体旅行の動きは目立たず、個人旅行の客については、出発間際の申込があるため、さほど変わらない。
		旅行代理店(従業員)	・旅行商品の先行受注状況が、なかなか好転しない。
		タクシー運転手	・雨の日が少なく、温かい日が続いていることもあり、客は近距離は歩いたり、夜でも深夜バスを利用できる時間、電車のある時間はできるだけタクシーを使わない。利用者の減少傾向は今後も続く。
		通信会社(営業担当)	・地上デジタル放送を含むフルデジタル放送サービスが本格始動するが、ユーザーの関心はやや鈍く、反応する世帯は、生活に余裕のある一部にとどまると予想している。
		住宅販売会社(経営者)	・潜在的に物件を探している客は多いので、いかに特徴を付けて販売するかが問われるが、今後2～3か月先では極端に変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	百貨店（販売促進担当）	・消費税総額表示の導入が消費者に混乱を招くことは間違いない。消費者も店側も、慣れるまで時間がかかる。
		コンビニ（経営者）	・夜の来客数が大きく減少している。
		衣料品専門店（経営者）	・4月1日から総額表示が義務付けられるが、割高感から、客の買い控えが出る。
		都市型ホテル（スタッフ）	・4～6月の受注状況は、6月の一般法人宴席が前年並みであるものの、それ以外では婚礼、一般法人宴席ともに前年を下回っており、状況はやや悪くなる。
			タクシー運転手
	悪くなる	自動車備品販売店（経理担当）	・新聞では景気が上向きだというが、どこの話だと思っくらい部品業界の先行きは不透明である。先行きに対する不安感が強い。
		一般レストラン（経営者）	・ただでさえ景気が低迷している中、消費税の表示ひとつが変わると、消費者が外食の回数を減らす原因になる。
企業動向関連	良くなる		
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・法人企業からの注文が少しずつ増加している。店頭販売については、来客数は変わらないが、客単価が上昇している。客は、今までより1ランク、2ランク上の商品を注文するようになっており、今後はやや良くなる。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・取引先で、かなり残業が増加している。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合い件数が増えている。受注能力があれば即発注したい等の新規問い合わせも2件ある。同業者も、納期が間に合わないのが断ることが出てきたと話しており、景気は上向き。
		電気機械器具製造業（経営者）	・これから約半年先くらいまで、受注見込みがいくつか固まってきており、今までの低迷を脱した感がある。
		金融業（渉外・預金担当）	・取引先から、少し先まで安定した仕事量が入っているという話が聞かれるようになってきている。全体から見れば、まだ中小企業の景気が良くなっているという実感を持っている客は少ないが、新聞紙上だけでなく、景気の良い風が吹いている感触はある。客からの話や取引先の受注内容から判断すると、今後もやや良くなる。
		広告代理店（営業担当）	・取引先の映画会社の4月以降のラインナップが、昨年比150%伸びており、付随した宣伝費の増加が見込める。
	変わらない	食料品製造業（関連会社担当）	・今後、家庭の可処分所得が増加する要因が見当たらない。当社が扱う日常的な食料品についても、引き続き買い控え基調が続く。
		繊維工業（経営者）	・春物は1～3月で受注できたが、8月までの夏物の受注があるかどうか分からない。例年よりも、プリント物が良い状態ではあるが、先は分からない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・今後の新規受注がないので、変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今月の特殊要因である前倒し需要を差し引いて考えると、4～5月は変わらない。
		建設業（営業担当）	・依然として、採算割れの工事を行う業者があり、受注量が例年並みにとどまれば、安定した景気が戻る可能性は少ない。
		金融業（審査担当）	・企業間格差は広がりがつつあるが、ほとんどの企業は売上、収益ともに増加していない。
金融業（得意先担当）		・企業関係はやや良くなるが、その反面個人は融資の延滞や自己破産が増えて、相対的には変わらない。	
不動産業（総務担当）		・新規テナントの入居申込はあるが、小口のテナントばかりで空室率改善には寄与せず、今後も横ばいで推移する見通しである。	
その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）		・受注量は回復傾向で推移しそうであるが、コストダウンも根強く要請される。	
やや悪くなる	建設業（経理担当）	・数少ない工事案件の競争が激しく、叩き合いの状態では業者が群がっている。この先も、案件は少なそうである。	
	輸送業（総務担当）	・取引先であるメーカーでは、事業の統廃合が予定され、国内から海外へ生産が移転することもあり、荷量の減少が考えられる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	輸送業（総務担当）	・人員削減が協力会社にも言い渡され、当社も段階的に相当数の人員削減をしなければならない。当面は配転で対応できるが、基本的には相当数を解雇しなければならない。売上額の減少と排ガス規制対応の車両の台替資金とで、キャッシュフローが深刻な問題で、資金調達をしても返済計画が立たない。
雇用 関連	良くなる	職業安定所（職員）	・管内に4月に新規開店の大型スーパーがあり、パート社員ではあるが、13職種、317名の求人が出ている。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・雇用の多様化が加速する中、派遣法の改正もあり、企業からの問い合わせが増加している。社員の後任に派遣を利用することが多くなり、新たな採用も少しずつ増加する。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新卒採用を復活する企業が出ており、中堅のメーカーにも波及し始めている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新しい業態のスタートや、増産等で、今より採用を増やすという話が出ているので、少しは良くなる。
		職業安定所（職員）	・デジタル関連企業及び自動車関連の製造業からの求人が、依然堅調に推移している。個人消費の動向に敏感に反応すると思われる卸、小売関連事業所からの求人も、力強い動きを保っており、今後もこの傾向は続く。
		学校〔専門学校〕（教務担当）	・コンピュータソフト開発系に期待が持てる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・これから春先にかけて、若干良くなるかもしれないという話を各中小企業の社長から聞いている。ただし、鳥インフルエンザ等の問題があるので、流通、外食産業が若干落ち込むと影響が出てくるといった意見もある。
人材派遣会社（支店長）		・年度初めは受注件数が減る傾向にあるが、キャンペーンのデモンストレーション業務は比較的増加している。	
求人情報誌製作会社（営業担当）		・季節的に、アルバイト、正社員の採用が増えてきているが、企業としては、やはり欠員補助での採用が主体で、事業拡大等による積極採用は一部の企業でしか行われていない。事業拡大に踏み込めない企業が大半を占める状況や、未経験採用による長期的な人材育成が行えない企業が多い点を踏まえると、景気は短期間で良くなるとは思えない。	
職業安定所（職員）		・1月の有効求人倍率は1.48倍となっているが、サービス業や製造業で請負求人が増加しているのが原因で、純粋な数字とは言い難い。紹介件数や就職件数は増加しておらず、ミスマッチが続く。	
民間職業紹介機関（経営者）		・回復の兆しはあるが、企業はいつ採用活動を中止してもよいという姿勢で、中途採用市場にはまだ安定感はない。	
	やや悪くなる	学校〔専修学校〕（就職担当）	・昨年度求人実績があった企業が、今年度の採用活動を未定とするところが多い。
	悪くなる	-	-

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・いよいよ間近となった愛知万博の開催、中部国際空港の開港に向けて、東海地域の消費は本格的に上向き傾向になる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・愛知万博の開催まであと1年となり、人の動きが活発化し各部門で予約は増加する。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・オリンピックに向けて、デジタルテレビを中心としたデジタル家電商品の需要増が期待できる。
		商店街（代表者）	・商店街では新規店舗の開店がある。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・少しずつ上向いている。
		百貨店（売場主任）	・愛知万博、中部国際空港開業に向けて街は活性化する。
		百貨店（企画担当）	・競合店の増床や大型専門店の路面進出など競争環境は厳しくなっているが、街が活性化されマーケットも広がる。
		百貨店（企画担当）	・ヤング、キャリア層で春夏の新しいファッション商材が人気を博しており、数年ぶりに買換え需要が促進されそうである。
		百貨店（外商担当）	・客の購買意欲は上昇している。
		スーパー（店長）	・静岡県で花博が開催されるため、県外からの来客により地元経済も活発になる。
スーパー（総務担当）	・販促活動によって良い影響が出ており、乗客数は5%以上増加している。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営企画担当）	・各店舗の売上の上昇が今月に入ってから底固くなっている。
		一般レストラン（スタッフ）	・客単価に変化はみられないが、来客数は増加傾向にある。
		観光型ホテル（スタッフ）	・春のシーズン企画に対する予約が例年より良い方向で進んでいる。
		都市型ホテル（支配人）	・愛知万博が間近になり、環境が今より悪くなることはない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・静岡県では花博が開催されるため、その需要が見込まれる。
		旅行代理店（経営者）	・若干ではあるが来客数が増加している。
		旅行代理店（経営者）	・昨年のSARSのような大きな影響はなく、今後は愛知万博、中部国際空港関係で人の動きは活発になる。
		旅行代理店（従業員）	・SARSや鳥インフルエンザの懸念が払拭されたわけではないが、団体客の引き合いが例年より多い。特に欧州などの長距離の引き合いが多く期待できる。
		旅行代理店（従業員）	・単価はそれほどでもないが、旅行に行く客は確実に増加している。
		通信会社（企画担当）	・通常は落ち込む2月を良い雰囲気過ぎており、これから上向いてくる。
		テーマパーク（職員）	・現状が続けば、グリーンシーズンにもある程度の期待が持てる。
		ゴルフ場（経営者）	・3か月先の予約状況は昨年より良く、ちまたでもゴルフの話が多くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	・客の購買力や雰囲気はまだ不安定で、微妙なことで変化すると感じているが、以前と違って悪くなるだけではなく、良く変化する可能性も出ている。
		百貨店（売場主任）	・価格を下げて商品も動かないため、問題は価格ではない。客は買い控えを決め込んでおり、春物商品も動かない。
		百貨店（企画担当）	・ヤングの購買意欲は回復してきているが、購買の主力であるミセス層にやや元気がないように感じられる。
		百貨店（経理担当）	・法人関係の外商部門が伸びなければ景気が上向きとは言えない。
		百貨店（販売促進担当）	・気温によって購買意欲の変動が激しいため、安定した売上傾向は見えていない。
		スーパー（経営者）	・1～2月の来客数は増加しているが、販売量の増加には至っていない。今後の気候が例年通りで、青果や鮮魚が順調であれば、販売量は増加する。
		スーパー（店長）	・客は珍しいものや話題商品に対しては購買意欲があるが、それ以外は低価格志向が継続している。
		スーパー（店員）	・客の買物の仕方から判断すると、上向き傾向は今後も継続する。
		コンビニ（経営者）	・必要な商品を安く最小限度で購入するためには労力を惜しまないという傾向は定着しているため、今後景気が回復してもこの傾向は少なくとも夏までは継続する。
		コンビニ（エリア担当）	・競合店の出店で売上は厳しいが、米飯商品の売上が順調に推移している。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数は増加しているが、客単価は減少しているため、売上が前年を割る店舗が多い。
		コンビニ（店長）	・客の購買意欲は相変わらず低下したままである。
		コンビニ（商品開発担当）	・鳥インフルエンザやBSEなど食品に対して消費者は不安を感じているのが心配である。
		コンビニ（売場担当）	・売上、単価とも伸び悩みの状況が継続する。
		家電量販店（経営者）	・デフレ傾向は続いており、消費者の財布のひもが固い状況は変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・引き続き個人客の動きは堅調である。ただし、法人客は依然として景気高揚感薄く、動きが鈍い。
		自動車備品販売店（経営者）	・客単価や来客数の落ち込みに回復の兆しは見られない。
		住関連専門店（店員）	・身の回りでは報道で伝えられるような景気の動きであるが、購買の範囲や購入場所などで状況は異なっている。
		住関連専門店（営業担当）	・住宅ローン減税が延長となり若干増加が見込めるが、公共工事関係は減少していく。
		その他小売〔総合衣料〕（店員）	・スーツなどでは低価格帯商品の販売ばかりが見込まれ、単価は低下する。
		高級レストラン（スタッフ）	・客単価が上昇しているため売上を確保できているが、来客数は横ばい基調であるため長続きはしない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・客が多くて座れない日があるかと思えばまったく客が来ない日もあり、この状況はしばらく続く。
		都市型ホテル（従業員）	・予約状況に変化はみられない。
		ゴルフ場（企画担当）	・季節的に最高のシーズンとなるが、予算程度かそれを若干上回れば良いところである。休日の客入りは良いが、平日に多くの来客がないと景気回復とは思えない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・大型スーパーとの競争でますます厳しくなる。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・酒税免許の規制緩和によって競争は激化しており、既存店の倒産、閉店が相次いでいる。
		衣料品専門店（企画担当）	・消費をけん引するトレンドがファッション衣料品に見当たらない。
		一般レストラン（経営者）	・近くにコンビニが出店したため今後はティータイムや主婦をターゲットにしたメニュー作りを進めていくが、昼の売上に影響が出るのは必至である。
		美容室（経営者）	・競合店との厳しい状態が継続する。
		理美容室（経営者）	・客の来店サイクルが長くなってきている。
		設計事務所（経営者）	・規模の小さい物件が多く、将来の見通しが全く立たない。
	悪くなる	住宅販売会社（経営者）	・買い控えが続いており、値段を下げてでも売行きは悪いため、厳しい状態は今後も継続する。
		住宅販売会社（業務担当）	・住宅着工件数は伸び悩んでおり、中小企業では景気回復の実感はない。
		商店街（代表者）	・大型量販店の進出の影響が懸念される。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・製品値上げが取引先に浸透しており、若干良くなる。
		化学工業（総務担当）	・IT関連の取引先が増産体制を敷いている。
		化学工業（人事担当）	・為替レートが大きく変動しない限り、力強さはないものの着実に上昇していく。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・窯業界の景気の先行指数となる住宅着工件数が増加している。
		金属製品製造業（従業員）	・生産量の増加が見込める。
		一般機械器具製造業（販売担当）	・円安方向へ為替が動いているため、米国市場では製品の価格競争力に持ち直しが見られる。また、中国を始めとするアジア市場においても、日系を中心に自動車業界の設備投資が具体的になっている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・取引先企業の景気が良くなってきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・国内では設備投資などが回復基調にあり、海外向けも心配された急速な円高傾向が一息ついている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・同業種でも受注の多い所と少ない所の格差は出ているが、全体としては緩やかではあるが回復基調である。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・新製品の売行きを楽観視できる雰囲気である。
		広告代理店（制作担当）	・提案中の企画物が 少しずつ形になりつつある。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・各業種のチラシ件数が増えている。
その他非製造業〔デザイン〕（経営者）	・新商品に対する取扱希望の問い合わせが多数寄せられている。		
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・当面は好転するとは考えられず、更なる内部努力によって収益改善を図る必要がある。	
	輸送用機械器具製造業（工務担当）	・生産計画が比較的高い水準で継続する。	
	輸送用機械器具製造業（統括）	・受注先が、業績回復のために、下請に対して厳しい値下げ要求をさらにエスカレートさせてくる。	
	建設業（経営者）	・施主側には依然として強いデフレ感があり、設備投資の環境は相変わらず厳しく、当面は採算面での好転は期待できない。	
	建設業（経営者）	・工事件数が増加したとしても、単価が低いいため利幅は薄い。この傾向は当分の間継続する。	
	輸送業（エリア担当）	・一般の荷動きに若干の明るさが出てきている。しかし、輸送関連業種がやや良くなるのはもう少し先になる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		税理士	・勝ち組企業と負け組企業の差が一層顕著になってきている。勝ち組企業は着実に回復しているが、規模の小さい個人企業は停滞している。
	やや悪くなる	印刷業（営業担当） 金属製品製造業（従業員） 電気機械器具製造業（従業員） 広告代理店（従業員）	・前年と同水準が下回る計画となっている。 ・このところ仕事が重なっているため、今後はその反動が来る。 ・受注量が減少している下請業者が増加している。
	悪くなる	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当） 経営コンサルタント	・企業や自治体の来年度予算が今年度以上に厳しくなっている。 ・販売価格が低下していく傾向が見受けられる。受注競争は一段と激しさを増している。
		人材派遣会社（社員） 職業安定所（所長）	・売上の最低目標も達成できない店舗が出てきている。 ・受注に対して登録スタッフが計画通りに集まらない状況である。今後は愛知万博や中部国際空港関連で一層の需要増加が見込まれる。 ・中小企業でも人手不足が起きており、求人募集する企業が出てきている。
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（編集者） 求人情報誌製作会社（企画担当） 新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・人材採用、育成に関して企業からは積極的な意見をよく聞くため、今後も採用意欲は伸びていく。 ・愛知万博や中部国際空港などの雇用が徐々に具現化しつつあり、雇用市場が活気づき始めている。 ・求人の動きは昨秋以降少しずつ良くなっている。直近3か月の動きを見ると上昇カーブは大きくなっている。 ・これまでは軽雇用が中心であったが、最近は正社員募集も増えている。流通業など一部で厳しいところがあるものの、全体的には良くなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者） 職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（職員） 学校〔大学〕（就職担当）	・求人件数の増加傾向は今後も続く。中堅企業でも2005年新卒を含め採用活動が活発化する。 ・繊維、木材・木製品製造など一部産業を除いて求人は増加傾向にある。 ・求人数は増加しており、正社員募集の求人も増えている。 ・業務拡大や中長期の経営計画に基づく採用増がみられる。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣のニーズに対してスタッフの供給が追いつかない状態は今後も続く。
		人材派遣会社（社員）	・製造業への派遣が解禁となるが、請負のパイは変化せず影響は少ない。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・これまでの労働者の供給地域では、軒並み人材が枯渇している。求人需要はあっても供給が伴わない。
		職業安定所（職員）	・求人内容は派遣、パートなど請負形態が多く、雇用のミスマッチの状況は継続する。
		職業安定所（職員）	・対前月比で新規求人の増加率を大きく上回る新規求職者の増加がみられ、新規求人倍率は5か月続いた増加傾向から減少に転じている。
		職業安定所（管理部門担当） 民間職業紹介機関（経営者）	・有効求人倍率は平成4年12月以来の高水準となっているが、中高年については0.59と厳しく、ミスマッチも多い。 ・大手自動車関連メーカーの好業績に支えられ、今後もエンジニアを中心とした積極的な採用は継続する。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（社員） テーマパーク（職員）	・携帯電話の新サービスの効果が表れる。 ・春になって個人客の動きが良くなれば、前年からスタートした新企画の効果と相まって来客数の増加が期待できる。
	やや良くなる	コンビニ（経営者） 家電量販店（経営者）	・酒の販売を始めたため売上が増加する。 ・デジタル家電や、白物家電の中でも食器洗い機などのぜいたく品が好調なため、引き続き期待できる。
		乗用車販売店（経営者）	・客からの引き合い件数がわずかながら増加している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
変わらない		乗用車販売店（総務担当）	・2月は新型車の谷間であるが、6月ごろには1,500CCクラスの若者向け新型車が登場するため期待できる。
		乗用車販売店（経理担当）	・新型車の客への配車が順調に推移すれば、販売状況が良くなる。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	・天候が良くなり薄着になるにつれ、制汗剤など衣替え需要が高まり、また健康志向商品などの新しい需要の取り込みにより売上が伸びる。
		パチンコ店（店員）	・1人当たりの客単価が少しずつ上向いている。
		百貨店（売場主任）	・春物を少し前倒して店頭に品ぞろえしているが、特にジャケット、コートなどアウターの動きがやや鈍い。色の明るい単品のニットやセーター類がインナーとして活発に動いているが、やはり大型商材の動きが鈍いことが気になる。
		スーパー（店長）	・牛肉、鶏肉の消費が落ち込んでおり、特に牛肉は金額が大きいいため、豚肉へ移行してもその分はカバーできない。
		スーパー（店長）	・4月からの消費税の総額表示は消費者が理解するまでに時間がかかる。
		スーパー（店長）	・4月からの消費税の総額表示により、消費者が買い控える懸念がある。一方、小売側は売価変更により実質的な値下げをするため、消費者の購買意欲を若干高める期待感もある。
		スーパー（店長）	・来客数は昨年10月以降、前年の105%前後で推移しており、今後は引き続き安定した動きとなる。社会催事では衣料部門のフォーマルやフレッシュズで苦戦が予想される。
		スーパー（総務担当）	・客が必要な物しか買わないという傾向は今後も続く。客単価もほぼ変わらず、販売量は現状のままで推移する。
		スーパー（営業担当）	・4月から消費税の総額表示がスタートするが、客に売価ラインや値ごろ感がどう映るかが問題である。一部では値上げと受け取られ、消費が一時鈍る恐れがある。
		住関連専門店（店員）	・消耗品に近い買い回り品の買上客数がなかなか回復しないため、店内の雰囲気盛り上がりがない。
		観光型旅館（スタッフ）	・2、3月までは予約保有数が前年を上回っているが、4月以降は前年を下回る月も出ており、不透明である。また、大きな団体の動きも弱い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・4月にゲストハウス施設がオープンするため、4月の婚礼受注状況は前年を下回っているが、宿泊部門と一般宴会が増加する見込みで、全体では前年並みとなる。
		タクシー運転手	・しばらくは客が増えない中で客の奪い合いが続く。運転代行業者のタクシーへの参入が続き、タクシーも代行へ攻勢をかけている。
		美容室（経営者）	・メーカーやディーラーの営業マンの情報では出荷量が落ち込んでいる。末端美容室の売上総額も今後2、3か月間は回復の見込みが立たない。
設計事務所（職員）	・投資意欲を促進する工夫や努力が各社で行われているが、急速に回復するとは思えない。		
住宅販売会社（従業員）	・例年2月は契約数が増加する時期であるが、今年は増加の気配があまり感じられない。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・当店の周辺の道路、アーケード、駅構内などの工事が一挙に行われており、平成17年の完成まで売上は徐々にダウンする。	
	百貨店（営業担当）	・女性のヤングファッションの買上客数が今月も引き続き減少している。また、3か月先の大きなファッショントレンドやヒットアイテムがまだ見つからない。	
	百貨店（営業担当）	・ファッションでは素材や色、デザインなど多少のヒットアイテムが見え始めているが、年金、消費税の総額表示の問題など、全般的に環境は厳しい。	
	百貨店（営業担当）	・一部の定価販売商品では既に消費税の税込み表示を行っているが、客への影響はみられない。ただし、4月から本格的に総額表示が導入されると、セール、催事会場では値ごろ感が客に伝わりにくいため、苦戦が予想される。	
	コンビニ（経営者）	・競合店の出店により、古い店舗の当店では売上の厳しい状態がまだまだ続く。	
	乗用車販売店（営業担当）	・来場者数が前年と比較して少しずつ減少しているため、来月以降のばん回は考えにくい。	
	観光型旅館（経営者）	・4月から実施される消費税の総額表示によって、宿泊単価の下落が予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		テーマパーク（職員）	・ 2、3か月先のグループ、団体客の予約数を前年と比較すると1割以上の減少となっている。参議院選挙の影響もあり、6月を中心に団体客の動きが鈍くなる。
	悪くなる	一般小売店〔鮮魚〕（店長）	・ 4月から消費税の総額表示が義務づけられるため、表示価格を見た客に値上げと映る可能性があり、しばらくは消費が低迷する。販売する側にとっても価格設定が難しく、他店との競合により利益の圧迫要因となる。
企業動向 関連	良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・ 設備投資の先行指標である工作機械の受注について、昨年、一昨年の納期は6～8か月であったが、最近1～2か月の短納期で推移している。
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経理担当）	・ 特殊要因かもしれないが、当社の受注は好調で、夏場にかけて数量的には倍増する計画も出ている。客先の様子からも景気は徐々に上向いている。
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	・ 当業界では前年対比で95～98%と、リテール商品が若干減少している。3月からの新商品の棚替え導入時に、既存商品に代わる付加価値商材が登場しない限り、現状のままで推移する。
		繊維工業（経営者）	・ 受注状況や客の様子をみても、もうひとつ盛り上がりを感じられない。
		繊維工業（経営者）	・ 安価であれば売れた時代が変わり、消費者ニーズに適した物でなければ売れなくなっている。多少高くても、売れる商品は売れる。
		金属製品製造業（経営者）	・ 今後の受注内容を見ると、代わり映えがしない。
		精密機械器具製造業（経営者）	・ 仕事量が全体に減少している中で、3か月先には現在季節的に若干増えている分も無くなり、本当に悪くなる恐れもある。眼鏡業界全体としては新しいプラス材料が見えていないため、少なくともこのままの状態が続けば、まだ良い方である。
		通信業（営業担当）	・ 提案型営業では自治体や公共関係は好調であり、製造業もまずまずである。しかし、流通は若干低調な状態が続いている。
	司法書士	・ 現在取り扱っている不動産取引の案件は債務整理のためのものが非常に多い。	
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	建設業（総務担当）	・ 鋼材価格が上昇しているが、工事価格に転嫁できない部分が発生するため、採算が更に悪化する懸念がある。	
雇用 関連	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 求人広告の件数は都会地でも増加しているが、地元でも前年比2割増で推移している。
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・ 求人に関して前向きな企業が増加している。
		職業安定所（職員）	・ 求職者の減少傾向が顕著である。
		民間職業紹介機関（経営者）	・ 大手家電メーカーが地元で大型工場を建設するため、多くの雇用が期待できる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・ 最近の求人数に大きな変化がない。
		職業安定所（職員）	・ 有効求人倍率の状況を見ると、全体に占める常用の割合は前年同月比で減少している。一方、パートの比率はここ数か月間連続して増加しており、企業側では景気の先行き不透明感からパート雇用に頼っている。
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-	

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・ 近くにマンションが完成したため、来客数が増える見込みである。
		通信会社（経営者）	・ 前向きな投資案件が増えているため、その場しのぎでない本格的な回復の兆しを肌で感じており、先行きには期待が持たれる。
		その他レジャー施設〔球場〕（企画担当）	・ プロ野球シーズンが開幕するとともに、入学式、国際会議などのイベントが予定されており、多数の来場者が見込まれる。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・ 住宅展示場のゴールデンウィークのフェアには、年間来場者の2割近い客が来場するが、住宅ローン減税が1年延長されたため、今年はかなりの来場者数が見込める。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
やや良くなる		一般小売店〔酒〕（経営者）	・乗客数はほぼ横ばいであるが、店のオープン当初から行っている試飲が客へ浸透し、販売本数、売上ともにアップしているため、今後もこの傾向が続くと期待している。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・駅前開発によって交通の便が良くなり、街がきれいになったため、色々な人が集まって、にぎやかになった。今後も良くなっていくと期待している。
		百貨店（売場主任）	・まだ本格的な春物商戦がスタートしていないが、手応えは感じている。インポートブランドは円安の影響で国内価格の値上げが相次いでおり、販売への影響が懸念されるが、宝飾、時計などは今後上昇局面に入ることが期待される。
		百貨店（売場主任）	・買い控えの続くフリー客が、夏物買いに入ると予感されることや、新しいトレンドアイテムやブランドが出てきており、昨年とはかなり違った色、素材、購買傾向が出てくると予想されることから、先行きに期待できる。
		百貨店（売場主任）	・今年はオリンピック開催およびサッカーワールドカップの予選などで、ファッションもスポーツ感覚がクローズアップされているので、全体的に上向き傾向になることが期待される。
		百貨店（営業担当）	・確実に売上を伸ばしている高級ブランド品、時計、宝飾品、衣料品はさらに売上を伸ばす勢いが感じられる。
		家電量販店（店長）	・夏に向かって、アテネオリンピックの話題が多くなり、それにつれてデジタル家電の伸びが加速することが期待される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・5月に国際ロータリークラブ世界大会が大阪で開催されるため、宿泊を中心として大阪は賑わうことが期待される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会の先行予約は弱い、婚礼が前年を大きく上回っている。また、宿泊では定例の大口団体が今年度はなくなり危惧をしていたが、それを上回る予約が受注できそうで、先行きの見込みは明るい。
		都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊の予約率は前年より上回っており、単価についてもやや上昇傾向にあるほか、当日予約やオークインについてもやや勢いがある。宴会もプライベート、一般宴会とも予約は増えていることから、先行きに期待が持たれる。
		旅行代理店（広報担当）	・今年はゴールデンウィークの日並びが良いので、海外や国内に満遍なく申込が入れば、今の状況よりかなり良くなることが期待される。
		旅行代理店（営業担当）	・鳥インフルエンザが沈静化することが絶対条件だが、昨年と比較すれば間違いなく販売量の動きは良くなっているもので、夏には旅行業界も回復に向けた流れに乗ることが期待される。
		タクシー運転手	・客との会話のなかで、元気な企業が増えてきているように感じられることから、先行きに期待できる。
		ゴルフ場（経営者）	・例年に比べて予約状況はやや悪いが、メンバーやコンペの幹事から受ける感触は非常に良く、今後気温の上昇とともに上向きになると期待している。
		美容室（店長）	・5月はホワイトニング化粧品が売れる時期にあたるが、気温が上がった年は売行きが良い。昨年は気温が上がらなかったため、今年は昨年以上の売行きが期待できる。
		美容室（店員）	・新技術の開発がうまくいっており、新メニューにつながっていることから、先行きに期待できる。
その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・昨年からの新築マンション供給抑制と年度末の在庫一掃販売によって、市場の需給バランスが供給過多から通常に戻る可能性が高い。その結果、無理な価格競争は和らぐことが期待される。		
変わらない		百貨店（売場主任）	・ポリウム商品が苦戦するなか、気温だけが売上を左右する大きな要因となっていることから、今後大きな回復は見込めない。
		百貨店（企画担当）	・婦人ファッションが堅調に推移しているものの、ここ数か月は再び乗客数の減少傾向がみられることから、今後も一進一退の状況が続く。
		百貨店（営業担当）	・高額所得者については、株価もまだ安定せず先行きが不透明な状態なので、高額品などへの需要はあまり見込めない。
		百貨店（売場担当）	・ヒットブランド、アイテムもなく、先行きが非常に不透明である。
		スーパー（店長）	・売上は伸びているが、今月に競合他社の新店舗が近くにできるの、先行きは不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経理担当）	・今後、企業としても安全性の高い商品の選択が必須であり、コストの増大が懸念される。
		コンビニ（経営者）	・機能性飲料のような高付加価値商品が好調で、客単価の引き上げ効果がある反面、それ以外は低単価商品へシフトしていることから、今後も客単価は低いレベルで推移しそうである。
		家電量販店（企画担当）	・薄型テレビ、DVD、デジタルカメラ、パソコンをはじめ、独り立ち需要などの春先需要や、オリンピックなどのイベントによる盛り上がりにより期待が持たれる。
		乗用車販売店（営業担当）	・中古車の販売は好調であるが、客の希望が多人数が乗れる車種に偏っていることから、今後も新車の売行きに関してはあまり変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・相変わらず低年式車の買い替えが多く、中古車市場は品不足が続いている。新車購入についても、いまの車両が使用限度になってやむを得ず乗り替えをするケースが多いことから、今後も厳しい状況が続く。
		観光型旅館（経営者）	・BSEや鳥インフルエンザでかなりの打撃を受けているが、こだわりのある特産品などであれば、少々割高でも購入がみられることから、今の水準は維持できる。
		通信会社（経営者）	・今後数か月で次世代携帯電話のラインナップが出揃うが、大きな需要掘り起こしは期待できず、買い換え意欲を刺激するには至らない。
		通信会社（社員）	・今後も新商品を投入していくので、需要を喚起できるものと期待される。
		観光名所（経理担当）	・当社の商業施設と同種の施設が増加しており、今後の競争の激化が懸念される。
		住宅販売会社（経営者）	・一時的な来客数の増加で景気の上向き傾向は感じているが、実質的な成約数の上昇までもう少し時間がかかることから、厳しい状況が続く。
やや悪くなる		百貨店（営業担当）	・4月以降の総額表示に関し、今まで百貨店では少なかった1円単位の表示に違和感を感じて、売上が減少することが懸念される。
		乗用車販売店（営業担当）	・4月からの消費税内税表示により、値段が上がったように錯覚されるため、高額商品については購入に二の足を踏まれることが懸念される。
		通信会社（経営者）	・新規案件の欠乏とともに、社内スタッフや開発協力業者内でも、モチベーションの低下、離脱などの現象がでており、会社の存続自体が危うい状態になっていることから、先行きの見通しは暗い。
		通信会社（経営者）	・競争相手の商品がよく売れていることから、先行きの見通しは暗い。
悪くなる		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・昨年はSARSの影響を受け、ゴールデンウィークが全くだめだったので、今年は少し期待しているものの、新たな問題が発生することを懸念している。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・BSEによる米国牛の輸入禁止が長期化しそうであることから、業界への影響がさらに大きくなることが懸念される。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・他の業種が上向いているが、当業界は他業種の影響を受けやすい業界であるため、今後は良くなることが期待される。
		木材木製品製造業（経営者）	・今後、受注量や販売量が増加し、価格も改善される予定であることから、先行きに期待が持てる。
		化学工業（経営者）	・得意先ごとに差があり安定していないが、全体としては売上増加傾向にある。雰囲気も明るくなってきたことから、先行きに期待が持てる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の稼働状況も大変良く、これ以上の増産はできないと聞いている。当社も受注残は多くないものの、営業活動に対する顧客の反応は良いことから、先行きに期待できる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・ものづくり企業の受注生産量が、急速に回復していることから、先行きに期待が持たれる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・自動車、電気、鉄鋼、造船、プラントメーカーなどで、仕事が増えている感があることから、先行きの見通しは明るい。
		建設業（経営者）	・マーケットが拡大傾向にあるので、今後も営業方針を誤まらなければ、上向き傾向が続く。
		不動産業（営業担当）	・マンションの収益物件が売れてきており、今後もこの傾向は続くと思われる。従って、ワンルームマンションなどに適する土地については、今後値上がりすることが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	変わらない	繊維工業（経営者）	・夏物商品の発注については、現状の状況から判断すると多くは期待できない。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・一般消費者向けの瓶の受注が落ち込んでいることから、今後も厳しい状況が続く。	
		電気機械器具製造業（営業担当）	・見積の依頼はあるが、内容を見ると当社が得意とする物件が少ないことから、先行きに大きな期待はできない。	
		建設業（社員）	・不動産取引は活発化してきたものの、少ない市場での競争が続いていることから、建設業界は厳しい状況が続く。	
		不動産業（経営者）	・収益マンション、収益ビルの取得希望が多いが、立地、利回りなど条件が厳しいことから、今後も厳しい状況が続く。	
		その他サービス業〔イベント企画〕（経営者）	・ゴールデンウィークに向けての企画に目新しさがなく、先行きには期待できない。	
	やや悪くなる			
	悪くなる	繊維工業（団体職員）	・受注量のさらなる減少が懸念される。既に減少への対策が限界であることから、先行きの見通しは非常に厳しい。	
雇用 関連	良くなる			
		やや良くなる	民間職業紹介機関（支社長）	・関西の家電メーカーの好調が続いていることに加え、中堅や中小企業も元気になってきている。採用の意欲が高まっている状況が今後も続く。
			学校〔大学〕（就職担当）	・企業が大学生に内定を出す時期が早まりそうである。優秀な人材を確保するためのセミナーの開催や採用活動を前倒しする企業が多くなってきている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・新卒採用の増加傾向や、派遣、紹介、請負などのアウトソーシングを活用した雇用は、規制緩和も追い風となって伸長傾向が続くことが期待される。	
		職業安定所（職員）	・求人数が増加傾向にあり、有効求人倍率が改善されてはいるものの、雇用形態が不安定な求人が多く、賃金の低下をはじめとした雇用条件の悪化が続いていることから、今後も厳しい状況が続く。	
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業は相変わらずリストラをしており、その穴埋めとしてパートや派遣社員に切り替えるところが増えてきたことから、先行きが懸念される。	
民間職業紹介機関（職員）		・先日、聴き取り調査を求人業者に行ったが、かなりの業者が悲観的であったことから、今後も厳しい状況が続く。		
	悪くなる	-	-	

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般レストラン（店長）	・作業服を着た客、サラリーマンの客も若年層の来店が増加している。 ・客の表情が非常に晴れやかになり、将来的には良くなるのではないかなという様子が見て取れる。 ・BSEによる影響も、ハンバーグなど他の商品へ注文が移行してカバーできている。
		やや良くなる	百貨店（営業担当）
		百貨店（販売促進担当）	・春物やキャリア服などの商品の売行きが好調であり、今後も堅調に推移する。
		百貨店（売場担当）	・開店100周年が大規模な宣伝媒体となる。 ・周辺の店舗の改装が終了し、各地方からの来客も含めてより多くの来客が見込めるので市場全体としては非常ににぎわう。
		スーパー（店長）	・ただし、競争が激しくなるので、現在のペースほど商品が売れなくなる。 ・前年と比較し、今後も客の買上点数と客単価の増加傾向が続く。
		家電量販店（店長）	・オリンピックイヤーによる大型テレビの需要が更に拡大し、パソコン関係も引き続き堅調に推移することが見込まれるため、季節商品の変動はあるものの、全体的にはやや良くなっていく。
		家電量販店（予算担当）	・アテネオリンピックイヤーでもあるため、比較的高額のプラズマ、液晶テレビの売行きが今後も順調に推移していく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
変わらない		乗用車販売店（統括）	・顧客の来店数が上向きつつあり、商業車も少しずつ上向いている。
		通信会社（企画担当）	・徐々にではあるがIP電話やコンテンツ等、附随的サービスの普及が進み、目立たない範囲内かもしれないが、客単価が上昇し、売上高もアップする。
		住宅販売会社（経理担当）	・新規の発売物件が数棟あり、比較的低価格の物件が多いため、契約数は増加する。
		商店街（代表者）	・今のところ新しい動きなり、加盟店の増加、出店問い合わせ回数増加などの明るい情報が無く、現状を打破する様子がない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・消費税の総額表示がいい形に動くか、悪い形に動くか、これに伴う値下げの動きもあるため様子見している。
		百貨店（営業担当）	・婦人服の今春の予想トレンドはフェミニンな物が見込まれ、動きは良くなるが全体的にはあまり変化がない。
		百貨店（購買担当）	・セール品、低価格商品の動きが良く、売上が好調に推移している一方で、春物商品の動きが鈍く、今期のトレンド商品も出てきていないので、全体では変わらない。
		百貨店（売場担当）	・春物商品の動向は、マザーニーズといわれる入学などの目的のあるものの動きは堅調に推移しているが、新しい企画やデザイン物は動きが鈍く不調である。 ・決算期社員販売も前年比80%で、付き合い買いも限界にきている。
		スーパー（店長）	・ここ数ヶ月の販売点数前年比104%から105%というトレンドはこれからも続く。
		スーパー（店長）	・客数は徐々に回復してきている。 ・4月1日から実施される総額表示の影響が未知数である。客の動向を見て対策していく。
		スーパー（店員）	・消費税総額表示により値上げ感が発生し、購買への警戒感が出るため厳しくなる。
		コンビニ（エリア担当）	・客数・客単価とも堅調な推移は続いており、当面現状ペースは維持できそうであるが、依然顧客の購買状況は上向き感はなく、変わらない。
		衣料品専門店（販売促進担当）	・春物の売上が望めるが、天候次第では一気に夏物になってしまうおそれがある。
		乗用車販売店（統括）	・3月は通常月の2倍の需要があるが、今までの顧客の動きを見ると今後も変わらない。 ・「これ以上のローンは組めない」という客が増えている。
		乗用車販売店（サービス担当）	・良くなる商品のためこ入れが無いと変わらない。
		住関連専門店（広告企画担当）	・単価の低下が収まらず、税込みがどうかを気にする客が増え、大きな動きにも敏感になり、4月から価格不信の客も増える。
		その他専門店〔書籍〕（従業員）	・年始の芥川、直木賞による購買の反動がある。
		一般レストラン（店長）	・隣のデパートが、かなり大がかりな改装を店内外で実施するので、相乗効果が出る。 ・来週中にはBSE問題による輸入規制のために、ホルモンやタンが販売できなくなるため、どう影響するか不安である。
		都市型ホテル（経営者）	・BSEや鳥インフルエンザの問題により、景気は上向きにはならない。
		都市型ホテル（総務担当）	・行く方面によっては客から、また、社内でも大阪エリアなどでは景気回復の声は聞かれるが、当地ではそれにつながる具体的な数値や要素はみられない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊客の予約が、日が迫ってからの予約に集中しており、ゴールデンウィークの大きな動きもまだみられていない。
旅行代理店（経営者）	・国内旅行は前年の96.6%と回復してきたが、海外旅行が前年の49.7%と回復せず、今後の海外旅行の動向が不透明である。		
タクシー運転手	・乗車する客より、いい意味での転勤をする、歓送迎会をするという声が聞かれるようになった。		
設計事務所（職員）	・一戸建て住宅地用として近隣の田畑が整地されており、個人住宅向け関連の景気は、依然としてやや良い状態が続く。		
住宅販売会社（従業員）	・客の購買意欲は出てきたが、建築材料が一部高騰しているため、売価の値上げを余儀なくされ、若干購買意欲に水を差すような結果を招く可能性がある。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・消費税総額表示による値上り感などの影響がある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・消費税総額表示により、割高感が客に感じられるようになるとともに、値下げ合戦が起こる。
		一般小売店〔印章〕（営業担当）	・消費税総額表示により、多くの商品の売上に影響が出るのみならず、パンフレット作成などの作業の影響も考えられ、価格見直しの動きもみられるようになる。
		スーパー（店長）	・消費税総額表示により、手ごろ感を出すためにはある程度消費税を負担しなければならないので、利益が下がる。
		スーパー（店長）	・大手GMSの進出により広島地区の競争は激化すると予測され、そのため景気はやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・既存店の状況が若干良くなってきているが、このままでは、前年を割ってしまう可能性がある。
		コンビニ（エリア担当）	・量販店の24時間営業、コンビニの競合店出店などにより、売上が下げ止まらない上、客単価も下がってきており、この状況が続く。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・単価は変わらないが、客数増加の要素がない。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・消費税総額表示による影響が不透明のため、先行き予測が難しい。
		乗用車販売店（販売担当）	・新卒者地元求人が少なく、若年層の車購入が減少する。 ・公共事業予算減で、建設業からの車購入が減少する。
			悪くなる
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	農林水産業（従業者）	・1月はシケが多く不漁で、特にイカ釣り漁は全く水揚げがなく、また定置網もシケと越前クラゲのため、網を上げていたが、3月中旬より定置網の設置をする予定であり、天候の回復も期待される。
		木材木製品製造業（経理担当）	・個人消費回復には時間はかかるものの、企業業績全体が良くなっている状況なので、現状よりは景気は良くなる。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・今春新商品の販売に、顧客の反応から期待ができる。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・造船関係で需要増加に伴い価格上昇がみられる上、受注はなお豊富である。
		建設業（営業担当）	・土地関係の売買案件、及び土地所有者による土地利用計画に基づく相談が増加してきた。
	変わらない	化学工業（総務担当）	・原油・ナフサ価格の高騰による売買スプレッドの悪化は、今後も変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・需要家の好調、また積極的受注活動の結果、生産量は現在水準を維持できる。
		金属製品製造業（総務担当）	・現在の受注、売上の傾向よりみて、今後もあまり変化がない。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・液晶関係は今後も引き続き拡大が続くと思われるが、レーザー関係は競争がますます激化するので、全体的には変わらない。
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・主要顧客の新製品群が、海外での評価が高く、当社の受注予想も国内向けのものから海外向けの製品へ切り替わってきており、国内向けへの一服感を補っている。	
	通信業（社員）	・次年度売上に向けた営業を展開中であるが、各社とも予算面で厳しいものがあり、2～3か月後に景気好転して受注に結び付くとは思えない。 ・現段階では客からの受注は横ばいであり、景気が良くなっているとは感じられない。	
	金融業（営業担当）	・公共工事と大手の企業に頼っている状況が続いている。 ・大手の企業の輸出が伸びても地場企業にはあまり関係無いので、地場経済が好転するにはまだまだ時間がかかる。	
	金融業（業界情報担当）	・円高進展は懸念材料ではあるが、当面受注量は高水準が続くとみられ、景況感是不変。	
	会計事務所（職員）	・中小零細販売業の売上高低調が目立ち、サービス、飲食業も思いのほか客足が集まらない反面、くず鉄の値段が上がる気配を見せており、製造業は今の調子を維持できる。	
	やや悪くなる	建設業（経営企画担当）	・年度末のため公共工事が増加すると予測されるが、公共工事の絶対量が減少しているため、受注量を増やすにも限度がある。
		通信業（営業企画担当）	・通信サービス事業は、現在の買換えが増収効果とならないため、高グレード商品のメニュー追加によるバリエーション増などの決め手を持たないまま、相対契約開始も見据えた顧客獲得戦略の模索が続く。
	悪くなる	-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社 (支店長)	・自動車や造船など外需の雇用需要の増加だけでなく、住宅、不動産といった内需の雇用需要も増えており、過去と比較しても良い方向に向かっている。
	やや良くなる	新聞社 [求人広告] (広告営業担当)	・今春卒業の高校、大学生の内定率がやや上昇している様子であり、年度が変われば求人数はやや増える。
		職業安定所 (職員)	・情報処理・提供サービス業の事業所において、今後5年間で120人程度の増員計画があるなど、事業主の新規求人への意欲はやや上昇している。
	変わらない	民間職業紹介機関 (職員)	・小、零細企業では人材の確保が難しくなってきたというような声を聞く。それだけ中堅、大手の採用意欲が高まっている。
		人材派遣会社 (経営者)	・現在人材派遣の需要は堅調にあり、3月スタートの改正派遣法も人材派遣マーケットの拡大につながるが、企業の人材サービスに対する要求は高度になってきており、マッチする人材の供給が困難になっている。
職業安定所 (職員)		・大量離職が一段落したため、今後しばらくは求人・求職とも大きな動きはない。	
職業安定所 (職員)		・求人は増加傾向であるが、求職者数が高止まりしている。	
やや悪くなる	学校 [短期大学] (就職担当)	・雇用情勢全体が活発化に転じる材料は乏しく、今後もあまり期待は持てない。 ・デジタル商品業界の一部活況がマスメディアでは報じられているが、同関係業界から届く求人の雇用形態は相変わらず契約社員、臨時社員、期間社員、パートタイマー採用などが多く、正社員としての採用を求める学生との間にはギャップが生じている。	
	学校 [大学] (就職担当)	・好調な雰囲気があるが求人を伸ばしているようにみられるが、派遣登録の求人が伸びているにとどまり、それも欠員補充的なものが多いため、この好調は続かない。	
	悪くなる	-	-

9. 四国 (地域別調査機関 : 四国経済連合会)

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	住宅販売会社 (従業員)	・昨年同様、住宅ローン減税の期限に合わせて受注が増える見通しである。
	やや良くなる	スーパー (店長)	・今年は春の訪れが早く、既に春物、夏物の動きが良い。BSE、鳥インフルエンザ等の影響で食肉の売上が低迷しているが、それ以外の商品は良い方向に流れている。
		コンビニ (エリア担当)	・来客数の動き、客単価の動きから、少しずつ客がお金を使うようになってきている。 ・付加価値の高い商品には、出費を惜しまなくなってきた。
		家電量販店 (店長)	・アテネオリンピックが開催されることから、オリンピック効果が見込める。
		一般レストラン (経営者)	・売上は前月と大差はないが、宴会・予約の問い合わせが徐々に増えている。
		旅行代理店 (従業員)	・景気に回復の兆しがあり、4月以降の団体旅行の相談、契約も出てきている。
		通信会社 (企画担当)	・新商品のラインナップが出そろうため、やや良くなる。
		観光名所 (経営者)	・昨年は4月の統一地方選挙、5月にはSARSの影響をともに受けて大幅に落ち込んだので、今年はその反動もあって、前年を大きく上回る。
		ゴルフ場 (従業員)	・2、3か月後の予約が結構入っており、来場者の客層自体も以前と比べて、良い客層、新規客層が多くなっている。
		設計事務所 (所長)	・宅地分譲や建売住宅の販売量が増えてきた。
		変わらない	百貨店 (営業担当)
	百貨店 (営業担当)		・客の購入状況に変化はなく、今後の動向を見極める必要がある。ブランド商品群もブランドによる好不調のばらつきが拡大してきている。
	スーパー (店長)		・特に良くなる条件が見当たらない。必要な物しか買わない傾向が続いていく。
	スーパー (財務担当)	・春商戦に向けて目玉商品もなく、加えて4月からの消費税総額表示が、客に与える影響が心配である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・相変わらず客の慎重な購入態度が続いており、春物の催しに対しても反応が全体的に鈍く、例年に比べても春物の立ち上がりは遅い。
		家電量販店（営業担当）	・売れる商品と売れない商品の差がまだまだ大きく、販売量、来客数の両方を上昇させるところまでには至らない。
		乗用車販売店（従業員）	・全国的に販売台数は伸び悩んでおり、県内も同様である。新型車効果による販売量の増加を望むしかないが、当面、新型車の発売予定はない。
		観光型旅館（経営者）	・四国内で行われているイベントは全国的にみれば、小規模で効果は小さく、3か月程度先で良くなることは期待できない。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況が好転していない。また突然に入ってくる予約もない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・春物の立ち上がりで人出はあるが、なかなか販売に結び付かない。3か月後も来客数、販売数とも伸びない見通しである。
		スーパー（企画担当）	・4月から価格表示が消費税総額表示に変わるが、商品の割高感が出て客の買い控え等が起こる。
		スーパー（営業担当）	・BSE、鳥インフルエンザ等食料品の安全面で問題が出ており、客は食料品を買い控えているだけでなく、他の商品についても、必要な物、安全な物、少し割高な物を少量だけ買うという状況にあり、買い控えが発生している。今後更に何が起こるかという不安感があるため、景気は悪くなっていく。
	悪くなる		
	企業動向関連	良くなる	通信業（支店長）
やや良くなる		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新商品が少しずつ浸透しているので、良くなっていく。
		電気機械器具製造業（経営者）	・いわゆる勝ち組企業との取引があり、受注量が多くなっている。
		不動産業（経営者）	・景気の良い人と悪い人の格差が非常に大きくなってきているが、賃貸関連、売買関連とも全般的に動きが出てきている。
変わらない		一般機械器具製造業（経理担当）	・小型クレーンは、排ガス規制によるトラックの買換え需要により、引き続き堅調に推移する。一方、大・中型クレーンは総需要の水準は低いものの底を打ち、横ばいに推移する見通しである。
		広告代理店（経営者）	・広告拡大のけん引役として長く貢献してきたIT関連も、一時の勢いは既になく、来期予算も減額になりそうである。これに変わる業種も見当たらないため、回復にはまだ少し時間がかかる。
やや悪くなる		食料品製造業（従業員）	・鳥インフルエンザ、BSE問題により肉の在庫は尽きており、今後政府が中国等の海外商品についてどう対応していくかによって非常に変わってくる。
		建設業（総務担当）	・資材、特に鋼材の値上がり分を受注価格に転嫁できず、収益面で厳しくなる。
悪くなる	-	-	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・派遣の受注者数が前年同月比で顕著に増加している。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・新卒求人が落ち着きをみせており、その他の求人も増えてくる期待感がある。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・シンボルタワーのオープンが差し迫っており、現時点では今後の状況がまだ良くみえない。
		職業安定所（職員）	・新規求職者、有効求職者ともに前年比で減少した。しかし、建設業などでは更なるリストラの動きもあり、楽観できる状況ではない。また求人数は若干増加しているが、警備業、窯業、医療等の一部職種に偏ったものとなっており、雇用面での厳しさは変わらない。
	やや悪くなる		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる		

10. 九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	衣料品専門店（経営者）	・2月は1年のうちでも商品の売行きは一番悪いが、今年は天候不順や早期セール展開による2月の落ち込みをある程度予想していた。今後、景気がこれ以上悪くなることはない。新店の計画もあるので、2～3か月先は良くなる。
		高級レストラン（専務）	・九州新幹線開業という新しい大きなイベントが控えており、交流人口が大幅に増える。ただ、それに関連する業界については景気が良くなるだろうが、それも長くは続かない。
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・再開発、新規出店等が目白押しであり、個人消費は良く動く。
		百貨店（営業担当）	・春先に向けて、新店オープンなど一時的な効果が期待される。また、顧客回遊ルートの変化で、来客数の増加を予想している。
		百貨店（販売促進担当）	・九州新幹線部分開業、新店舗開店を契機に、福岡天神の吸引力は更に上がる。しかし、天神百貨店の売上が上がる一方、他県の小売業（百貨店）の売上が落ちる。
		スーパー（店長）	・客のセールへの反応が良くなっている。全体的な雰囲気も少し以前の厳しさから緩んでいる。
		コンビニ（販売促進担当）	・九州新幹線の開通に伴い、鹿児島中央駅前及び鹿児島 - 八代間の観光客の取り込みに力を入れている。波及効果である程度鹿児島島の経済も良くなる。
		衣料品専門店（総務担当）	・婦人服では、春物との入替えがスムーズで、春物商品が徐々に動き出している。客の反応も良い。
		家電量販店（企画担当）	・今年はアテネオリンピックがあるため、良くなるという感触を持っている。また、ワールドシリーズも始まるので関連需要に期待が持たれる。
		乗用車販売店（従業員）	・トラックの販売台数が増えつつある。景気は上向く。
		乗用車販売店（経理担当）	・今年の5、6月に新型車が出るので、若干ではあるが販売数の伸びが期待できる。
		乗用車販売店（管理担当）	・下取車のスクラップの価格が以前より上昇している。中古車はやや品薄になっており、株価の上昇等も含めて経済にややうねりが出てきた。
		旅行代理店（従業員）	・国内旅行は順調に推移すると思われるが、海外旅行は先が見えない状態。何事もなければ今後受注は期待できる。
		テーマパーク（職員）	・3～5月の春、ステイプランを打ち出す。ゴールデンウィークを挟む期間であるため、ゴルフや観光施設のにぎわいも期待できる。
	競輪場（職員）	・5月よりナイター競艇を実施する。PR効果等を含めファンサービスに力を入れているので、徐々に売上げが増える。	
	設計事務所（所長）	・自治体の予算発表によると、そこそこ予算が組んであるため、やや景気は上向く。	
	変わらない	商店街（代表者）	・給料のアップがみられない現状では、客はその分消費を控えるようになる。必需品はともかく、書籍類などは特に売上が落ちる。
		商店街（代表者）	・暖かくなれば人の動きは多少期待できるが、一方で来月初旬には郊外の大型ディスカウントストアのオープンも控えているので、あまり購買としては期待できない。
		百貨店（売場主任）	・競合店のオープンで商圏が拡大すると思われたが、買い回りは少ない。オープン記念のセール品には人が殺到していたが、プロパー商品の動きは今一つで、今後も景気が良くなるとは思えない。
		百貨店（営業担当）	・イベントの来客は非常に多いが、平常の売上が悪くなっている。粗品付きの催事には敏感に反応しているが、通常の夕方の方の来店が減っている。
百貨店（営業担当）		・商戦は新規商品投入の効果もあり、昨年をクリアしたものの、紳士服部門の売上が昨年に比べ90%と低迷した。	
百貨店（売場担当）		・3月の頭に、近郊に24時間営業のスーパーマーケットがオープンするため、競争が激化し、厳しい状況になる。	
百貨店（業務担当）		・生活者の潜在的ニーズを発掘する商材が出てこないことには、消費の活況はみえてこない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・鳥肉、牛肉の輸入制限に加え、競合店、大型店の出店等、不安要素がたくさんある。
		スーパー（店長）	・単価は上昇傾向であるが、客数があまり伸びていない。今月は申年にちなんで赤い肌着と普通の肌着がプロパー価格で相当売れ、今月の売上を支えた。反面春物の動きがあまりなく、新しいトレンドへの反応が以前に比べて鈍い。この傾向は今後も続く。
		スーパー（店長）	・生活の先行き不安で、買物をする時に、品物を真剣にセレクトする傾向は今後も続く。
		スーパー（総務担当）	・昨年比を下回って推移している。特に衣料品、住居用品は昨年を下回った。今後も衣料品、住居用品の復調の兆しが見えない。
		コンビニ（経営者）	・競合店の進出により競争が一層激化する。近くに他チェーンの開店が見込まれており、近くのスーパー等も営業時間延長、24時間営業を始めている。
		コンビニ（エリア担当）	・全体的な販売量の推移は低調であり、これから先、極端に伸びる傾向は見えない。店舗の運営状況も関係あるが売上鈍化はまだ続く。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も酒類免許新規取得店舗は予定されているが、酒類を飲む人口は変わらないにもかかわらず、販売店は増加になるため、売上増は見込めない。
		衣料品専門店（経営者）	・客に合う服が少なかった。今後仕入を見直すことで来店数を増やしたい。価格よりファッション性の高いものに要望が出てきている。
		衣料品専門店（店長）	・客が自分の収入に合わせた動きをしている。世間の状況も同じで収入が増える要素がないので財布のひもは相変わらず固い。
		乗用車販売店（経営者）	・ローンを組む客が非常に少なくなり、現金での購入が増えている。現金を持ってはいるが、景気の先行きが不安で物を買わない。2、3か月先も景気が良くならない。
		乗用車販売店（販売担当）	・販売量は若干増加するが、単価の動きは変わらない。維持費の安い軽自動車に流れており、景気は良くなる方向に向かっていない。
		住関連専門店（経営者）	・1、2月の売上が今までで最低で、家具売りの需要は現状維持が当分困難である。耐久消費財の購入に対する意欲が出てきていない。
		旅行代理店（業務担当）	・海外を中心に日並びが良いゴールデンウィークの申込は昨年を上回っているが、それ以外の期間の申込が少ない。
		タクシー運転手	・日曜、祭日でも人があまりなく、出てきても公共機関で早めに家路に急ぐようである。
		通信会社（営業担当）	・各メーカーの次世代携帯電話の新機種が出そうだが、人気のメーカーの機種は既に発売されているため、今月ほど話題にはならないと予想される。しかし、人気のメーカーの機種の購入を希望している客はまだ多く、売上はある程度見込まれる。
		観光名所（職員）	・ゴルフ場の価格は下げ止まった。しかし、利用客が自然に増えるという要素はない。観光施設についても同じであり、良くなるにはもう少し時間がかかる。
住宅販売会社（従業員）	・持家住宅の取得に関して、客の踏ん切りがまだつかない。今後も厳しい。		
やや悪くなる		百貨店（営業企画担当）	・大型量販店が出店し、福岡一極集中の拡大傾向は続いている。さらに、鳥栖市にアウトレットモールがオープンするため、客数の減少傾向は続く。
		スーパー（店長）	・BSE、鳥インフルエンザの問題で肉の売上がかなり落ちており、この状況は今後も続く。総額表示の問題も含め、今より難しい状況となる。春物衣料も動きがないので、夏の品ぞろえで勝負するしかない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・福岡市天神地区、北九州市に新しい百貨店がオープンし、博多駅前にはショッピングゾーンとしての魅力に欠けているため、景気はやや悪くなる。
		美容室（経営者）	・客がどんどん安い単価を求めるようになり、市販のもので済ませるようになってきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連	悪くなる	-	-
	良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体は3か月先まで仕事のみえている。
	やや良くなる	家具製造業（従業員）	・物件の量は上向いており、一時の不景気感はかなり改善されている。受注単価の下落が逆に物件を造りだしている向きもある。ただ、このままユーロ高が続くと輸入環境が厳しくなり、値上げを検討せざるをえない。
		輸送業（従業員）	・同業者の取扱量や荷主の出荷状況が回復している。
		経営コンサルタント	・それぞれの酒屋が酒の品ぞろえを強化し始めており、それに伴って売上がかなり見込まれる。品不足も生じているくらいなので、酒屋については若干景気が上向く。
	変わらない	農林水産業（経営者）	・本来なら3、4月は春先の行楽シーズンであるため期待が持てるが、現状では見通しは暗い。鳥インフルエンザの影響は2、3か月は続く。
		食料品製造業（経営者）	・当社にとっては、九州新幹線の開業効果はそれほどないと考えられる。これ以外に好材料が見当たらないため、景気の好転は期待できない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・食器類関係の中小零細企業は、輸入食器に押されあまり大きな動きはない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連、半導体装置関連は、現在の活発な動きが今後も続くか、もしくは上向くことが予想される。
		精密機械器具製造業（経営者）	・現状も受注面では決して減っていない。ただ、受注増は製品の改良によるものであり、良いのか悪いのか少し不安なところもある。
		輸送業（総務担当）	・一部季節商品の変動があるが、ほとんどの得意先の荷動きはない。
	やや悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・中国の旺盛な需要による、原料価格の高騰が続いている。運送費、副資材等も上昇し、コストアップ要因が目白押しで採算が悪化している。
		金属製品製造業（企画担当）	・鉄鋼、ステンレス、銅の原材料値上げ圧力があり、購入費が上昇している。競合会社との価格競争から調達コストの上昇を売価に反映することが難しく、厳しい状況である。
		建設業（総務担当）	・県や市町村の土木、建築に配分される予算が削減された。発注も少なくなり不安である。
	悪くなる	繊維工業（営業）	・高級品を作っている企業の倒産等が始まっており、腕がいいから倒産しない、ということはない。海外でもいいものができるという認識ができていく。
輸送用機械器具製造業（経営者）		・大型船舶の新造船の受注が全くないし、仮に受注したとしても、原材料鋼材の値上がりはかなり響いてくる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・労働者派遣法の改正で追い風である。これまで期間が限られていたものが条件付で延長されたため、契約を延長する人が増えてくると思われる。また製造業への派遣等が解禁されるに当たり、雇用が更に増える。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・福岡では6月中旬に大型商業施設がオープンする予定であり、1,000人を超える雇用が見込まれている。それに伴い、3～5月にかけて求人の増加が予想されるほか、周辺企業への影響も考えられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・地場企業の動きは変わらないが、求人の枠数は増えている。
		職業安定所（職員）	・新規就職者数が3か月連続で減少している。新規求人数はやや落ちついた感があるものの、14か月連続で対前年比増加している。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率が平成7年以来の0.7倍台を4か月連続で上回っている。
		民間職業紹介機関（支店長）	・輸出に支えられる自動車、電子機器、鉄鋼、内需のけん引役であるデジタル家電の上昇傾向は当分続く。福岡、長崎、大分等、大企業誘致により、地域経済の労働市場にもプラス材料がみられ始めた。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・IT、輸出関係を中心に景気が上向いているがビジネス派遣としての直接関係のない業態については、景気の上向きを示す材料がなかなか見いだせない状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・食料品製造業において、工場閉鎖による大量離職者の発生が予想され、求人倍率が低下する恐れがある。
	悪くなる	-	-

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	コンビニ（経営者） コンビニ（エリア担当） 観光型ホテル（商品企画担当） 住宅販売会社（従業員）	・観光客が増加傾向にある。 ・大型ホテルオープンに伴い、その地域付近のにぎわいが予想され、コンビニもその恩恵を受ける。 ・SARS関連で旅行マーケットが一時冷え込む状態にあった昨年度に比較すると、今年の稼働率は1月、2月も前年比プラスであったが、3月においてもプラス4～5ポイント、4月は2ポイント前後のプラスの受注状況で推移している。ただ、春休み期間の平日は動きがにぶい状況にある。 ・住宅用地を求める問い合わせが増えてきた。住宅減税延長の効果と思われる。しばらくは、このような動きが活発になり、戸建て住宅の需要が増え住宅市場は短期的ではあるが好景気になる。
	変わらない	百貨店（担当者）	・4月から、消費税相当額を含んだ支払総額表示が義務付けられることになっていることから、これにより一部割高感を客に与えるのではと危惧され、1月、2月で回復した来客数も今後は若干落ち着く。
		スーパー（経営者）	・例年2月は売上の厳しい時期なのだが、それに加えて客単価も依然として落ち込んでおり、しばらくはこの状況は続く。
		スーパー（企画担当）	・今年度も各競合他社の大型総合店やスーパーマーケットの新店舗オープンが大小なりあるということがうかがえることから、競争激化の状況は変わらない。良くなることはなく、悪くなる可能性の方が強い。
		コンビニ（エリア担当）	・BSEや鳥インフルエンザ等の問題が解決されなければ食品はやや苦しいが、全体の好調さに支えられ、現状とはあまり変わらない状況となる。
		衣料品専門店（経営者）	・この半年間、特に変わった動きはないが、物が良ければ少し値が高くても買っていき客は増えてきているように感じる。
		家電量販店（副店長）	・今後も客の購買意欲は弱くなると思われ、販売条件、支払条件等に特別なメリットを付加しても売上増の要因につながらない。
		乗用車販売店（総務担当）	・特別な売れ筋商品が出ないため、さほど変化はない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・4月から価格の表示が変わり、内税表示になることから、金額的にはさほど変わらないものの、これまでの表示より税金分、金額が高くなるため、客は値が上がったように感じ、販売量が減少するのではないかと危惧される。消費税表示に関しては、事業所の負担がかなり大きいことも合わせると、現状同様に景気は悪い状態が続く。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・仕入値が上昇し、売上減少の傾向にあるが、イベントを打つ分、市場からの反応はある。
		旅行代理店（経営者）	・国内旅行は順調に推移するであろうが、海外旅行に関しては、鳥インフルエンザ等で東南アジアを中心に今しばらく不振が続くと見込まれる。
	観光名所（職員）	・自衛隊のイラク派遣によるテロ発生の懸念やSARS、鳥インフルエンザの発生等による影響は感じられない。国内における現在の沖縄ブームを考えると沖縄への入域観光客は対前年同月比で今後も変わらず増加する。	
	ゴルフ場（経営者）	・全国的に景気は多少良くなると思うが、ゴルフ業界では相変わらず低価格競争の中にあり、現状はこのまま続く。	
やや悪くなる	一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者） 観光型ホテル（営業担当）	・今年はまだ新たに大型ショッピングセンターがオープンすることから、その影響は多少なりともあると予測されるため、ここ1、2年は様子見となり、良くなる気配は感じられない。 ・前年度の観光関連産業の好調さの反動があるのではと心配される。航空会社等の他観光地への宣伝広告費等のシフトなどが考えられる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	商店街（代表者）	・商店街では外周部の大型店に一般客を取られ、夕方の時間帯の来客数が減少しており、危機的状況下にあるとの話がよく聞かれる。個人業者の集まりということで対応が難しいという点もあるようである。観光客の往来はあるものの、なかなか購買までは至らず、四苦八苦している。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（総務担当）	・BSEや鳥インフルエンザの問題も落ち着き、代替商品等の荷が増加する。
	変わらない	建設業（経営者）	・問い合わせ、引き合い件数は横ばい状態であり、さらに成約までの長期化傾向に変化はみられない。
		輸送業（営業担当）	・全般的には、荷動きの大きな変化はないものと予測される。
	やや悪くなる	通信業（営業担当）	・新規案件獲得での競争が激化しており、自治体の予算不足などから通信インフラ部門も影響を受ける。
		不動産業（支店長）	・景気の良くなる材料が見当たらない。
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・求人者数及び求職者数が増加傾向にあり、引き続き好調に推移している。 ・あわせてマッチング数も増加しており期待が持てる。
		人材派遣会社（経営者）	・全国的には派遣関係の仕事は増えているとのニュースを良く聞くが、沖縄ではほとんど変わっていないように感じる。東京からの来客者から、沖縄の派遣は大変活気づいているではと聞かれたりするが、状況ではほとんど変わっていない。また、この先どうなるかもあまりみえない状況である。通常なら3月は非常に忙しい時期ではあるが、現状ではまだ需要が出てきていないことから、少々厳しいのではとの危惧もある。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求職者数は4,829人で前年同月比で18.2%増となったが、これは求人増に伴う県外希望者の増加及びパートタイム求職者の増加が要因となっている。 ・新規常用求職者3,655人の離職理由を構成比でみると、特に今回は無業者及び在職者が増加傾向にある。 ・月間有効求職者は、15,224人で前年同月比1.6%増と求職者が滞留し、長期化している。このようなことから、雇用の面では厳しい状況が続いている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・求人数の減少傾向は変わらず、社会全体における景気の好転材料が見当たらない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・アルバイト、パート、契約社員等の採用が増加していることから、3月卒業予定の正社員を希望する新規学卒者を中心に若年失業者が増加し、観光業の好調にもかかわらず、景気は好転せず、現状を維持する。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-